栄光学園中学高等学校

六甲学院中学校･高等学校

SOPHIA ANNUAL REPORT 2018

事業報告書

学校法人 上智学院
SOPHIA SCHOOL CORPORATION

上智大学　上智大学短期大学部　上智社会福祉専門学校
栄光学園中学高等学校　六甲学院中学校･高等学校　広島学院中学校･高等学校　上智福岡中学高等学校

広島学院中学校･高等学校

上智福岡中学高等学校

目　次

法人の概要

組織図 …… 3
設置学校 …… 4
役員等 …… 5
中長期計画「グランド・レイアウト2.0」の取組状況 …… 6
全学的トピックス …… 7

高等教育部門

施設等の状況 …… 9
上智大学
　教職員数等 …… 10
　学生数 …… 11
　2018年度実施入試（2019年度入学） …… 13
　卒業・修了者数等 …… 15
　進路／就職 …… 16
　国家試験・資格等 …… 17
　国際交流 …… 18
　学生納付金 …… 21
　奨学金 …… 23
　研究・知的財産等 …… 24
　事業の概要 …… 25
上智大学短期大学部
　教職員数等／学生数 …… 29
　2018年度実施入試（2019年度入学）／卒業・修了者数等／進路 …… 30
　就職 …… 31
　国際交流／学生納付金／奨学金／事業の概要 …… 32
上智社会福祉専門学校
　教職員数等／学生数／ 2018年度実施入試（2019年度入学） …… 33
　卒業・修了者数等／国家試験・資格等／進路／学生納付金／事業の概要 …… 34

中等教育部門

栄光学園中学高等学校 …… 35
六甲学院中学校・高等学校 …… 37
広島学院中学校・高等学校 …… 39
上智福岡中学高等学校 …… 41

財務の概要

学校法人会計基準について …… 43
2018年度決算の概要 …… 44
2018年度特別予算執行報告 …… 49
財務比率の推移 …… 50
資産運用の状況 …… 52
収益事業の状況 …… 53

沿革 …… 54

2018年度事業報告書の公表にあたって

学校法人上智学院　理事長
佐久間　勤

学校法人上智学院の2018年度事業報告書をここに公表いたします。

学校法人上智学院は、1549年に来日した聖フランシスコ・ザビエルの「ミヤコに大学を」との願いを引き継ぎ、その後カトリック修道会イエズス会により1913年に開学した上智大学の創設をその起源としています。1963年に上智社会福祉専門学校が、1973年には上智短期大学（現在の上智大学短期大学部）がそれぞれ発足しています。2016年には同じくイエズス会を設立母体とする４つの中高等学校法人との合併により、栄光学園中学高等学校、六甲学院中学校・高等学校、広島学院中学校・高等学校、上智福岡中学高等学校が本学院に加わりました。「叡智（ソフィア）が世界をつなぐ」（Sophia-Bringing the World Together）にまとめられる建学の理念に基づき、上智大学創立100周年に際して策定された2014年から2023年にかけての将来構想「グランド・レイアウト2.0」（以下、GL2.0）に則って、各校は2018年度もさまざまな取り組みを行って参りました。

一例を挙げますと、中等教育に関しては、JCAP（Jesuit Conference of Asia Pacific）主催によるISLF（Ignatian Student Leadership Forum)が8月8日～ 13日にかけて神奈川県の秦野キャンパスを舞台に開催されました。アジア地区（インドネシア、フィリピン、香港、マカオ、台湾、東ティモール）イエズス会高校生約70名の他、引率教員、中高4校の教職員、上智大学及び中高4校卒業生も加わり総勢約100名による会議では、移民・戦争・環境などの課題について学ぶとともに、議論や交流を通じて友情の絆を深めました。高等教育部門では、国内3大学・米国10大学との国際オンライン協働教育（Collaborative Online International Learning : COIL）を利用した事業「人間の安全保障と多文化共生に係る課題発見型国際協働オンライン学習プログラムの開発」が文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に採択されるなど、本学のグローバルな特徴を生かした取り組みが加速しています。

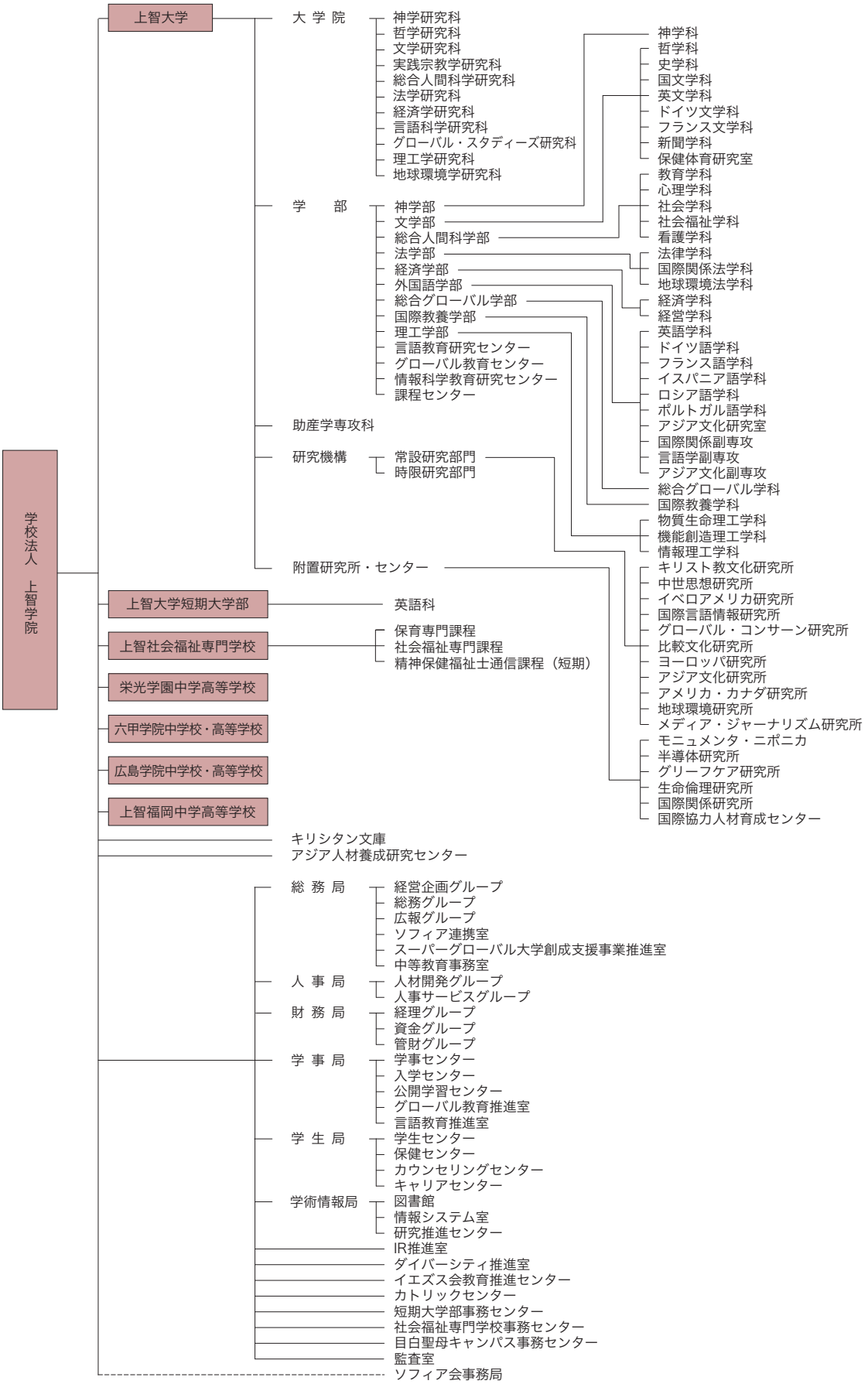
2018年度は、GL2.0の5年目にあたる年でもあり、前半の振り返りを行うと共に、GL2.0策定後の上智学院や社会情勢の変化を踏まえ、2019年度からの後半の5年に向けて計画の見直しを行いました。GL2.0の骨格は活かしつつ、「“他者のために、他者とともに生きる人”の育成」（Men and Women for Others, with Others）を学院共通の教育の精神として改めて示し、「グランド・レイアウト2.1」（以下、GL2.1）として新たな目標設定を行いました。GL2.0のもとで実施された18年度のさまざまな取り組みをGL2.1に引き継ぎ、さらなる発展を目指します。

本学院の活動にご理解をいただきますとともに、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人上智学院 理事長交代について

学校法人上智学院は、2018年4月1日に開催された理事会において、任期満了で退任した髙祖敏明理事長の後任として、佐久間勤（さくま・つとむ）（前総務担当理事）を理事長に選任しました。任期は2018年4月1日から2022年3月31日までの4年間となります。

組織図


学校法人 上智学院
上智大学
大学院
神学研究科
哲学研究科
文学研究科
実践宗教学研究科
総合人間科学研究科
法学研究科
経済学研究科
言語科学研究科
グローバル・スタディーズ研究科
理工学研究科
地球環境学研究科
学部
神学部
文学部
総合人間科学部
法学部
経済学部
外国語学部
総合グローバル学部
国際教養学部
理工学部
言語教育研究センター
グローバル教育センター
情報科学教育研究センター
課程センター
助産学専攻科
研究機構
常設研究部門
時限研究部門
附置研究所・センター
神学科
哲学科
史学科
国文学科
英文学科
ドイツ文学科
フランス文学科
新聞学科
保健体育研究室
教育学科
心理学科
社会学科
社会福祉学科
看護学科
法律学科
国際関係法学科
地球環境法学科
経済学科
経営学科
英語学科
ドイツ語学科
フランス語学科
イスパニア語学科
ロシア語学科
ポルトガル語学科
アジア文化研究室
国際関係副専攻
言語学副専攻
アジア文化副専攻
総合グローバル学科
国際教養学科
物質生命理工学科
機能創造理工学科
情報理工学科
キリスト教文化研究所
中世思想研究所
イベロアメリカ研究所
国際言語情報研究所
グローバル・コンサーン研究所
比較文化研究所
ヨーロッパ研究所
アジア文化研究所
アメリカ・カナダ研究所
地球環境研究所
メディア・ジャーナリズム研究所
モニュメンタ・ニポニカ
半導体研究所
グリーフケア研究所
生命倫理研究所
国際関係研究所
国際協力人材育成センター
上智大学短期大学部
英語科
上智社会福祉専門学校
保育専門課程
社会福祉専門課程
精神保健福祉士通信課程（短期）
栄光学園中学高等学校
六甲学院中学校・高等学校
広島学院中学校・高等学校
上智福岡中学高等学校
キリシタン文庫
アジア人材養成研究センター
総務局
経営企画グループ
総務グループ
広報グループ
ソフィア連携室
スーパーグローバル大学創成支援事業推進室
中等教育事務室
人事局
人材開発グループ
人事サービスグループ
財務局
経理グループ
資金グループ
管財グループ
学事局
学事センター
入学センター
公開学習センター
グローバル教育推進室
言語教育推進室
学生局
学生センター
保健センター
カウンセリングセンター
キャリアセンター
学術情報局
図書館
情報システム室
研究推進センター
IR推進室
ダイバーシティ推進室
イエズス会教育推進センター
カトリックセンター
短期大学部事務センター
社会福祉専門学校事務センター
目白聖母キャンパス事務センター
監査室
ソフィア会事務局

設置学校

設置学校

（2019年3月31日現在）

設置学校		キャンパス
上智大学	• 神学部、文学部、総合人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部、総合グローバル学部、国際教養学部、理工学部 • 哲学研究科、文学研究科、実践宗教学研究科、総合人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、言語科学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、理工学研究科、地球環境学研究科	①四谷
	• 総合人間科学部看護学科　• 助産学専攻科	②目白聖母
	• 理工学部情報理工学科	③市谷
	• 神学研究科	④石神井
	（グラウンド）	⑤秦野
	（グリーフケア研究所人材養成講座等を開講）	⑥大阪
上智大学短期大学部	• 英語科	⑤秦野
上智社会福祉専門学校		①四谷
栄光学園中学高等学校		⑦神奈川
六甲学院中学校・高等学校		⑧兵庫
広島学院中学校・高等学校		⑨広島
上智福岡中学高等学校		⑩福岡

所在地

①四谷キャンパス
〒102-8554　東京都千代田区紀尾井町7-1

②目白聖母キャンパス
〒161-8550　東京都新宿区下落合4-16-11

③市谷キャンパス
〒102-0081　東京都千代田区四番町4

④石神井キャンパス
〒177-0044　東京都練馬区上石神井4-32-11

⑤秦野キャンパス
〒257-0005　神奈川県秦野市上大槻山王台999

⑥大阪サテライトキャンパス
〒531-0072　大阪府大阪市北区豊崎3-12-8　サクラファミリア2階

⑦栄光学園中学高等学校
〒247-0071　神奈川県鎌倉市玉縄4-1-1

⑧六甲学院中学校・高等学校
〒657-0015　兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町2-4-1

⑨広島学院中学校・高等学校
〒733-0875　広島県広島市西区古江上1-630

⑩上智福岡中学高等学校
〒810-0032　福岡県福岡市中央区輝国1-10-10

役員等

（2019年3月31日現在）

理事

理事長・イエズス会高等教育担当理事
佐久間　勤

イエズス会中等教育担当理事
李　聖一

総務担当理事
サリ・アガスティン

人事担当理事
杉本　徹雄

財務担当理事
舌津　一良

グローバル化推進担当理事
プテンカラム　ジョンジョセフ

経営企画担当理事
引間　雅史

理事
曄道　佳明　山本　浩　望月　伸一郎　大石　英雄　堀田　健介　池尾　茂
崎川　茂郎　山下　まち子

評議員

レンゾ・デ・ルカ　佐久間　勤　李　聖一　曄道　佳明　山本　浩　髙山　貞美
望月 伸一郎　古泉　肇　三好　彰　大石　英雄　大塚　寿郎　江馬　一弘
中野　晃一　川中　仁　芳賀　学　須田　誠一　谷口　史也　赤松　廣政
戸川　宏一　クスマノ　ジェリー　プテンカラム　ジョンジョセフ　舌津　一良　池尾　茂
崎川　茂郎　杉本　徹雄　田中 南欧子　サリ・アガスティン　堀田　健介　山下　まち子
引間　雅史　田中　弥生

監事

本田　親彦　荻野 美佐子　金子　泰輔　萱場　基

学長・校長

上智大学長
曄道　佳明

上智大学短期大学部学長
山本　浩

上智社会福祉専門学校長
髙山　貞美

栄光学園中学高等学校校長
望月 伸一郎

六甲学院中学校・高等学校校長
古泉　肇

広島学院中学校・高等学校校長
三好　彰

上智福岡中学高等学校校長
大石　英雄

中長期計画「グランド・レイアウト2.0」の取組状況

学校法人上智学院は、創立100周年を迎えた2013年に、次の100年の発展を支える基盤を強化するために、今後の10年ほどを見据えた将来構想として「上智学院グランド・レイアウト2.0」（以下、GL2.0と記載）を公表しました。

GL2.0に基づく様々な改革を実行するため、卒業生や学外有識者にも参画いただき、11の検討専門委員会による推進体制を構築しています。各委員会はGL2.0の下にアクションプランを定め、年度末にその進捗を共有しています。2018年度の主な取組は下表の通りです。

なお、GL2.0は策定時より2014年度から2018年度までを第一期、2019年度から2023年度を第二期としておりました。そのため、第一期の最終年度である2018年度には、第二期に向けて、2018年度までの成果・課題を踏まえたGL2.0の見直しを実施し、「上智学院グランド・レイアウト2.1」（以下、GL2.1）として新たに目標を設定いたしました。2019年度からはGL2.1の下で様々な改革を進めてまいります。

"Men and Women for others, with others"
叡智（ソフィア）が世界をつなぐ

上智学院 グランド・レイアウト2.0（2014 ～ 2023）

「世界に並び立つ大学」の実現　　**次の100年の発展を支える基盤強化**

GL2.0本文はウェブサイトをご覧ください。 https://www.sophia-sc.jp/info/grand_layout/layout2.html

検討専門委員会名	2018年度の主な取組
アカデミック・プラン等検討専門第1委員会 （教学計画）	①現行ナンバリング制度の改善 ②FD活動の活性化による教育力の向上、能動的学習環境の拡充 ③セメスター・クォーター併用制の導入に合わせ、授業時間やカリキュラムの整備 ④Student Integration Programの実施（「留学生支援ネットワーク」の活性化） ⑤IB入試受験者数の増加
アカデミック・プラン等検討専門第2委員会 （研究・学術交流計画）	①「学術研究特別推進費」の「重点領域研究」による拠点形成および「自由課題研究」による学際的で自由な発想による研究の推進 ②「大学院生研究活動支援制度」をはじめとする次世代・若手研究者の育成に向けた施策の実施 ③研究コンプライアンスの強化（研究倫理教育の徹底）
フィジカル・プラン等検討専門第1委員会 （大学運営基盤の構築と学生の学修支援・学生生活支援計画）	①9号館地下カフェテリアのリニューアル（「アクティブ・コモンズ」の開設） ②障がい学生への支援体制の整備（ユニバーサルマナー理解促進プログラムの実施） ③各種就職支援体制の整備 ④対外接続回線の見直し、外部認証サービスの活用等による、学内利用者に限定しないネットワーク運用体制の確立
上智大学短期大学部検討専門委員会 （環境整備計画に関わる事項）	①国際交流ビジョンに基づいた海外大学との協定締結や留学生の派遣・受入等、国際交流の促進 ②自己点検・評価の実施
上智社会福祉専門学校検討専門委員会 （上智社会福祉専門学校の改革及び将来構想全般）	①国家試験義務化に向けた対策講座などの学修サポートの強化 ②千代田区子育て支援事業の実施
生涯学習検討専門委員会 （生涯学習の改革及び将来構想）	①産業界、行政機関、地方自治体等の学外機関との連携強化（あおぞら銀行、紀伊國屋との共同企画など） ②学外への情報発信・地域貢献を含めた現行プログラムの見直し
ガバナンス検討専門委員会 （上智学院全体の計画及び各検討専門委員会の進捗管理）	①GL2.0第一期の見直しとその結果を踏まえたGL2.1の策定 ②IRにもとづく国内外への情報発信（ファクトブック日英版の作成、Twitterアカウント開設等） ③リスクマネジメント体制の構築 ④卒業生データベースの整備
人事計画等検討専門委員会 （教員組織・運営組織及び教職員の人事制度）	①教員評価制度の継続実施、改善策の実行 ②専任職員評価制度の改正（職層等級規程の改正） ③教職協働イノベーション研究終了後の業務化推進策の確定
財政計画等検討専門委員会 （財政計画の策定及び財政基盤の確立）	①2017年度管理会計（目的別・事業別）の分析、課題の抽出 ②事業会社への移管業務範囲の拡大および教育研究サービスに係る事業の拡大 ③寄付受入方法の整備充実
フィジカル・プラン等検討専門第2委員会 （施設設備及び校地・建設計画）	①アルペ国際学生寮の竣工 ②キャンパス内整備範囲における案内表示や掲示の日英併記充実化 ③14号館（メリノール宣教会の土地・建物）を取得
中等教育検討専門委員会 （中等教育機関の改革及び将来構想）	①中等教育部門として中高4校共通のGL2.1およびアクションプランの策定

全学的トピックス

イエズス会教育の理解を深める試み

イエズス会系中高4校の学校法人（栄光学園、六甲学院、広島学院、泰星学園）との法人合併から3年目を迎えた2018年度には、学生・生徒、教職員ともに様々な交流が盛んとなり、イエズス会教育についての理解を深めることができました。

8月には、鎌倉にある「イエズス会鎌倉黙想の家」において、上智学院が設置する全ての学校の教職員を対象として、「識別」（個人識別、共同識別）を身につけ、イグナチオ的リーダーシップを持つ人になるための研修会を開催しました。Jesuit Conference of Asia Pacific（JCAP：イエズス会アジア太平洋協議会）の学校教育担当コーディネーター Johnny Go神父を講師として迎え、教職員18名が参加しました。

同じく8月に、秦野キャンパスを会場として、前述のJCAP主催のIgnatian Student Leadership Forum（ISLF）が開催されました。これはイエズス会高校の生徒を対象として、2年に1度アジア各国を舞台として開催されるイベントで、アジア地区にあるイエズス会高校（今回は、インドネシア、フィリピン、香港、マカオ、台湾、東ティモール、日本の学校が参加）の生徒68名と、日本のイエズス会4校のJesuit Secondary Education Committee（JSEC：イエズス会中等教育推進委員会）委員、中高4校を中心とした上智学院の教職員、上智大学生、中高4校卒業生を加えた計106名が参加し、イエス・キリストが示した和解によって生まれる平和や調和を体験的に学び、国内外のイエズス会姉妹校の仲間と友情の絆を深めました。

国外のイエズス会高等教育機関とのネットワークに関しては、「国際イエズス会大学連合」（IAJU）の学長フォーラムが3年ぶりにスペインのビルバオにあるDeusto大学で開催され、上智大学より曄道佳明学長、杉村美紀グローバル化推進担当副学長、川中仁神学部長、岡部みどり法学部教授が参加しました。本連合は全世界レベルの大規模なネットワークで、北米、中南米、アジア太平洋、インド、ヨーロッパ、アフリカの6つの地域それぞれのイエズス会組織を軸に、共通のビジョン・優先課題等を掲げています。今回の会合では、現代社会が直面する課題に対してイエズス会大学としていかに教育研究に取り組むべきかについて議論が行われ、世界6地域の代表が署名したIAJU憲章が採択されました。

12月には、宝塚にある「黙想の家」でイエズス会日本管区主催の「四校フォーラム」が開催され、イエズス会日本管区長、上智学院理事長、上智大学長および2名の副学長、中高4校の校長が一同に会しました。法人合併後3年間の活動を振り返りつつ、今後のイエズス会高等教育、中等教育をどう展開して行くかについて活発な意見交換が行われ、その内容を提言書として取り纏めました。

中等教育部門、高等教育部門の双方を有する学校法人として、今後もその連携を深めるための企画や事業を推進いたします。

上智大学初となる大学ベンチャー『ソフィアメディカルインフォ』設立

2018年10月1日、ダイバーシティ社会における共生の実現を目的とし、理工学部情報理工学科の高岡詠子教授を中心に開発された「上智大学多言語対応医療・看護・福祉・介護情報提供システムSoCHAS（ソーカス=Sophia Cross-lingual Health Assistant System）」を基盤とした事業を行う、上智大学発ベンチャー「ソフィアメディカルインフォ株式会社」を設立しました。スマートフォンなどのアプリを使って、訪日外国人旅行者が医療機関を受診する際の意思疎通の支援など、多文化社会におけるコミュニケーション上の課題解決を図ります。

同社は、一つのキャンパスに人文・社会系、理工系の組織が集うことで可能となる学際的な教育研究環境と、言語教育研究センターを擁し、22言語の学習機会を提供するなど、充実した語学研究の場を持つ本学の強みを最大限に生かしてSoCHASのコンテンツ開発を行うとともに、学生、教職員、卒業生を巻き込みながら事業展開を行い、その普及を通じて社会貢献活動を推進していきます。

●SoCHAS の問診遷移画面フロー（中国語を選択した時の画面遷移例）

SoCHAS 対応言語：日本語の他12言語（英・中・韓・ミャンマー・インドネシア・ベトナム・タイ・フィリピン・ネパール・ポルトガル・スペイン・ロシア・フランス）

【本件に関する問い合わせ先】
ソフィアメディカルインフォ株式会社
TEL：03-3238-3565　E-mail：smi-info-co@sophia.ac.jp

国連責任投資原則（PRI）の年次評価において最高評価「A+」を獲得

上智学院は、国連責任投資原則（以下「PRI」）による2018年の年次評価（総合評価・組織とガバナンス）において、最高評価の「A+」を獲得しました。

総合評価	委託―運用会社の選定、指名、モニタリング			
組織とガバナンス	上場株式	債券（国債等）	債券（社債／金融）	債券（社債／非金融）
A+	A	A	A	A

PRI（Principles for Responsible Investment）とは、国連の提唱により2006年に策定された、「環境・社会・企業統治」（ESG）における諸課題を投資の意思決定プロセスに反映させること等を定めた原則です。上智学院では2015年11月に、上智大学の建学の理念と整合的な投資方針を取り入れ、加盟している国連グローバルコンパクトの原則を資産運用面で実践するために、日本の高等教育機関として、初めて同原則に署名しています。

PRIの年次評価は、署名する機関投資家を対象に、PRI事務局が責任投資の実施状況等について評価したものであり、評価は6段階（A+、A、B、C、D、E）で付与され、「A+」が最高評価となっています。

上智学院では、基本理念の一つである、「学問研究および社会貢献を通じて、『人間の尊厳（human dignity）』を脅かす、『貧困、環境、教育、倫理』に関する課題の解決に貢献する」を資産運用面で実践するために、環境、社会、ガバナンスを考慮したESG投資に取り組むとともに、ESG投資に関する方針の策定や体制の整備を進めてまいりました。投資においてESG要因を適切に評価することは、中長期的な運用パフォーマンスにプラスの影響を与えるだけではなく、資本市場の健全な発展と持続可能な社会の実現に貢献するものと考えています。

貧困地域等の生活改善を投資目的として据えた社会的インパクト投資の開始について

上智学院は、2018年10月に貧困地域等の生活改善を明確に投資目的として据えた社会的インパクト投資（ベンチャーキャピタルファンド＜Aavishkaar社・インド＞）を開始しました。

Aavishkaar社は、インドでアーリーステージの社会的企業に対し投資を行うファンドとして、2001年に発足し、世界の投資家から投資資金を集め、インドを中心とした南アジアの農村部などで事業を行う社会起業家へ出資する、アジア最大級のファンドです。

このファンドは、貧困地域等の生活改善を明確に投資目的として据え、これまで延べ7千万人もの人々の生活を改善してきましたが、特筆すべきは、そうした大きな社会的インパクトと同時に、投資家に対し非常に大きな経済的リターンを生み出してきたことが挙げられます。「経済的リターンを犠牲にすることなく、大きな社会的インパクトを達成することは可能」であることを証明したAavishkaar社は、国連やG20などの場で表彰され、ビジネススクールのケーススタディでも取り上げられています。

今回の社会的インパクト投資は、PRIの実践をさらに推進し、また、国連「持続可能な開発目標（SDGs）」で掲げる目標を資産運用面で支援するものと位置付けています。上智学院では、これらの投資による資産運用収益を、奨学金をはじめとした学生への経済支援や教育研究活動のさらなる向上のために活用しています。

上智学院では、教育研究機関を運営する学校法人として、また責任あるアセット・オーナーとして、今後も社会的責任を果たすためのESG投資を推進してまいります。

企画展「キリシタンの世紀」－キリシタン文庫所蔵のキリシタン関係の貴重資料を公開－

2018年6月30日に、長崎県・熊本県の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録されました。

これを記念し、企画展「キリシタンの世紀」を、6号館1階の展示スペースにおいて、2018年10月19日から2019年3月8日まで開催しました。キリシタン文庫が所蔵するキリシタン関係の貴重資料のうち、1639年の最後の鎖国令として知られる「がれうた渡海禁止」（長崎にて発布）の高札をはじめ、1590年に巡察使ヴァリニャーノ神父がもたらした日本初の金属活字印刷機で刊行された「キリシタン版」と呼ばれる印刷本など、全7点のレプリカを展示しました。長崎・天草地方の潜伏キリシタン世界遺産の原点が感じられる企画となりました。

また、この企画展に合わせて、講演会「長崎と天草地方の潜伏キリシタン～潜伏キリシタンは世界的事件なのか～」を2019年1月15日に開催しました。文学部史学科の川村信三教授が講師を務め、展示資料について詳しく説明したほか「長崎と天草地方の潜伏キリシタン」の歴史的意義について解説しました。

企画展「キリシタンの世紀」（於：6号館1階展示スペース）

施設等の状況

主な施設等の状況

（2019年3月31日現在）

所在地	施設等	面積等		帳簿価額	摘要
四谷キャンパス 東京都千代田区紀尾井町 東京都千代田区麹町	校地		44,208.40㎡	8,629,476千円	大学と社会福祉専門学校が利用
			4,260.00㎡	借地	
	校舎（教室、実験室、研究室、講堂等）	16棟	134,812.97㎡	23,357,165千円	
	図書館（図書館、研究室等）	1棟	26,871.03㎡	2,487,307千円	
	体育館	1棟	4,453.53㎡	140,907千円	
	課外活動施設	1棟	4,114.74㎡	285,717千円	
	エネルギー・ステーション	3棟	3,304.38㎡	784,508千円	
四谷キャンパス 東京都千代田区紀尾井町 東京都千代田区麹町 東京都港区赤坂 東京都新宿区四谷	運動場		23,972.87㎡	借地	大学が利用
市谷キャンパス 東京都千代田区四番町	校地		4,585.61㎡	368,352千円	大学が利用
	校地		4.49㎡	借地	
	校舎（教室、研究室）	1棟	4,482.25㎡	194,517千円	
	研究棟（図書室、研究室）	1棟	1,962.94㎡	174,211千円	
石神井キャンパス 東京都練馬区上石神井	校舎敷地		1,600.80㎡	借地、借用建物	大学が利用
	図書館	1棟	1,369.86㎡		
秦野キャンパス 神奈川県秦野市	校地		254,833.91㎡	2,184,587千円	大学と短期大学部が利用
	運動場		2,183.38㎡	借地	
	校舎（教室、実験室）	1棟	3,292.27㎡	192,415千円	短期大学部が利用
	研究棟（図書館、研究室）	1棟	2,463.38㎡	470,265千円	
	体育館	1棟	1,003.51㎡	65,043千円	
	食堂棟（食堂、研究室）	1棟	1,606.73㎡	44,830千円	
	管理棟（事務室）	1棟	1,260.96㎡	129,413千円	
	セミナーハウス（教室、宿舎）	1棟	1,583.92㎡	31,663千円	大学が利用
	合宿所	1棟	925.70㎡	95,002千円	
大阪サテライトキャンパス 大阪府大阪市北区豊崎	校舎	1棟	664.50㎡	借用建物	大学が利用
目白聖母キャンパス 東京都新宿区下落合	校地		4,523.73㎡	40,445千円	大学が利用
	校舎（1号館）	1棟	5,789.04㎡	1,317,689千円	
	校舎（2号館）	1棟	2,204.50㎡	223,804千円	
祖師谷国際交流会館 東京都世田谷区上祖師谷	用地		13,441.00㎡	3,455,125千円	大学が利用
	学生寮	5棟	14,016.49㎡	866,758千円	
アルペ国際学生寮 東京都新宿区信濃町	用地		1,242.45㎡	借地	大学が利用
	学生寮	1棟	4,955.73㎡	2,133,512千円	
枝川寮 東京都江東区枝川	用地		1,003.39㎡	415,822千円	大学が利用
	男子学生寮	1棟	2,530.22㎡	403,120千円	
軽井沢セミナーハウス 長野県北佐久郡軽井沢町	用地		6,772.00㎡	701,339千円	大学が利用
	セミナーハウス（教室、宿舎）	1棟	1,981.83㎡	363,728千円	

教職員数等

教職員数

（2019年3月31日現在）

学校区分	教職員区分	本務	兼務	総計
上智大学	教員	542	872	1,414
	職員	363	2	365
総　計		905	874	1,779

※本務教員：専任教員・特別契約教授・特任教員・常勤嘱託教員・実務家教員・出向教員
　兼務教員：非常勤嘱託教員
　本務職員：専任職員・契約職員・嘱託（一般）職員・嘱託（特別）職員
　兼務職員：嘱託（一般）職員（医師等）
※管理部門所属職員は上智大学に算入

年齢別教員数

（2019年3月31日現在）

学校区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
上智大学	1	63	155	197	121	5	542

※非常勤講師を除く

（2019年3月31日現在）

職階別教員数

学校区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教員	総計
上智大学	308	144	39	40	11	0	542

※非常勤講師を除く

教員一人当たり学生数

（2018年5月1日現在）

学　部	学生数	本務教員数	
		教員数	一人当たり学生数
神学部	216	19	11.37
文学部	2,353	75	31.37
総合人間科学部	1,337	66	20.26
法学部	1,468	32	45.88
経済学部	1,452	30	48.40
外国語学部	2,319	65	35.68
総合グローバル学部	976	26	37.54
国際教養学部	802	34	23.59
理工学部	1,645	105	15.67
総　計	12,568	452	27.81

学生数

学部

（2018年5月1日現在）

学　部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次		学生数	収容定員充足率
神学部	40	176	41	42	54	79	(24)	216	122.7%
文学部	510	2,040	529	523	549	752	(214)	2,353	115.3%
総合人間科学部	305	1,220	310	312	333	382	(57)	1,337	109.6%
法学部	330	1,320	342	348	335	443	(90)	1,468	111.2%
経済学部	330	1,320	335	334	330	453	(95)	1,452	110.0%
外国語学部	500	2,000	519	514	526	760	(243)	2,319	116.0%
総合グローバル学部	220	880	228	228	242	278	(53)	976	110.9%
国際教養学部	186	744	197	193	193	219	(53)	802	107.8%
理工学部	380	1,520	383	405	404	453	(77)	1,645	108.2%
合　計	2,801	11,220	2,884	2,899	2,966	3,819	(906)	12,568	112.0%

※4年次生の欄（　）内は在学継続者数で内数である。
※国際教養学部及び理工学部の学生数は、前年9月入学者数＋当該年度4月入学者数である。

大学院

（2018年5月1日現在）

研究科	博士前期課程／修士課程／専門職学位課程				博士後期課程				総計
	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率	
神学研究科	20	40	23	57.5%	4	12	4	33.3%	27
哲学研究科	0	0	2	―	0	0	7	―	9
文学研究科	86	172	99	57.6%	24	72	49	68.1%	148
実践宗教学研究科	10	20	25	125.0%	3	3	5	166.7%	30
総合人間科学研究科	59	118	114	96.6%	16	48	56	116.7%	170
法学研究科　法律学専攻	20	40	11	27.5%	4	12	7	58.3%	18
法曹養成専攻	40	140	61	55.5%	―	―	―	―	61
経済学研究科	30	60	58	96.7%	4	12	4	33.3%	62
言語科学研究科	33	66	71	107.6%	5	15	31	206.7%	102
グローバル・スタディーズ研究科	60	120	119	99.2%	14	42	24	57.1%	143
理工学研究科	250	500	427	85.4%	20	60	46	76.7%	473
地球環境学研究科	60	120	163	135.8%	10	30	23	76.7%	186
合　計	668	1,396	1,173	84.6%	104	306	256	83.7%	1,429

※グローバル社会専攻、理工学専攻、地球環境学研究科の学生数は、同一年次数＝前年9月入学者数＋当該年度4月入学者数
※法科大学院の定員は、文部科学省告示により入学定員の3倍であるため、各年度の入学定員から算出し、収容定員は140（40+40+60=140）とする。
　定員充足率の算出においては2、3年制の各入学定員に各標準修業年限を乗じた数｛(25×2+30)＋(15×2)＝110｝を基礎とする。
※総合人間科学研究科看護学専攻は修士課程のみ設置。

助産学専攻科

（2018年5月1日現在）

学　部	入学定員	収容定員	1年次	学生数	収容定員充足率
助産学専攻科	10	10	10	10	100.0%

社会人学生数

（2018年5月1日現在）

研究科	博士前期課程	博士後期課程	総計
神学研究科	8	1	9
哲学研究科	0	1	1
文学研究科	19	15	34
実践宗教学研究科	20	5	25
総合人間科学研究科	36	20	56
法学研究科　法律学専攻	1	2	3
法曹養成専攻	16	―	16
経済学研究科	16	1	17
言語科学研究科	35	19	54
グローバル・スタディーズ研究科	49	11	60
理工学研究科	19	20	39
地球環境学研究科	39	6	45
合　計	258	101	359

外国人学生数

（2018年10月1日現在）

国・地域	身分	学部生	大学院生	専攻科生	交換留学生	ノン・ディグリー生	その他（注）	総計
アジア	中華人民共和国	340	323		31	80	60	834
	大韓民国	183	28		10	1	3	225
	台湾	26	8		7			41
	ベトナム社会主義共和国	10	15		5	1	1	32
	インドネシア共和国	15	6		6			27
	フィリピン共和国	14	8		1		1	24
	タイ王国	5	6		2	1		14
	ミャンマー連邦	9	3					12
	インド	5	6					11
	マレーシア	5	4			1		10
	シンガポール共和国	7						7
	朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）	2	2					4
	パキスタン・イスラム共和国	3	1					4
	スリランカ民主社会主義共和国	1	2					3
	モンゴル国	1	1				1	3
	ネパール王国		2					2
	バングラデシュ人民共和国		1					1
	小　計	626	416	0	62	84	66	1,254
ヨーロッパ	ドイツ連邦共和国	1	6		46	1	1	55
	フランス共和国	3	6		33	1		43
	英国		6		9	4		19
	スペイン		4		8		1	13
	イタリア共和国		3		7	1		11
	ロシア連邦	2	1		6	1		10
	ノルウェー王国	1	1		5			7
	ポーランド共和国	1	2		2			5
	オランダ王国				4			4
	スウェーデン王国	1			3			4
	ルクセンブルク大公国		2		1			3
	フィンランド共和国				3			3
	オーストリア共和国		1		2			3
	アイルランド	1			2			3
	ポルトガル共和国				2			2
	スロバキア共和国		2					2
	ベラルーシ共和国					1	1	2
	ベルギー王国				2			2
	スイス連邦				1	1		2
	カザフスタン共和国				1			1
	ジョージア（旧グルジア）		1					1
	キルギス共和国	1						1
	リトアニア共和国		1					1
	ルーマニア					1		1
	ブルガリア共和国				1			1
	小　計	11	36	0	138	11	3	199
中東	トルコ共和国	4	1		1		1	7
	イラン・イスラム共和国	1	1					2
	サウジアラビア王国		2					2
	オマーン国	1						1
	レバノン共和国		1					1
	ヨルダン・ハシミテ王国		1					1
	小　計	6	6	0	1	0	1	14
アフリカ	カメルーン共和国		7					7
	ナイジェリア連邦共和国	1	4					5
	南アフリカ共和国		4		1			5
	ウガンダ共和国		3					3
	ガーナ共和国		3					3
	モザンビーク共和国		2					2
	ルワンダ共和国		2					2
	マラウイ共和国		2					2
	エジプト・アラブ共和国	1						1
	ブルキナファソ	1						1
	ギニアビザウ共和国		1					1
	リベリア共和国		1					1
	社会主義人民リビア・アラブ国		1					1
	エチオピア		1					1
	アンゴラ共和国		1					1
	ケニア共和国		1					1
	ジンバブエ共和国	1						1
	小　計	4	33	0	1	0	0	38
北米	アメリカ合衆国	34	28	1	24	79	3	169
	カナダ		2		6	1	1	10
	小　計	34	30	1	30	80	4	179
中南米	ブラジル連邦共和国	7	3		3			13
	メキシコ合衆国		3		3	1		7
	コロンビア共和国	1	2		1			4
	ベネズエラ共和国		2					2
	ペルー共和国		1		1			2
	ウルグアイ東方共和国				2			2
	チリ共和国				2			2
	エクラドル共和国				1			1
	ジャマイカ		1					1
	バルバドス		1					1
	小　計	8	13	0	13	1	0	35
オセアニア	オーストラリア	2	3		20			25
	ミクロネシア連邦	5	4					9
	ニュージーランド		1		1			2
	フィジー共和国		1					1
	小　計	7	9	0	21	0	0	37
総　計		696	543	1	266	176	74	1,756

※「その他」の身分は、研究生、外国人特別研究生、科目等履修生、委託聴講生、交流学生の合計。

2018年度実施入試（2019年度入学）

学部

入試区分 / 学部	入学定員	一般入試（学科別）				一般入試（TEAP利用型）				推薦入試（指定校）				推薦入試（公募制）			
		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	40	14	80	12	8	10	49	6	2	6	7	7	7	8	16	11	11
文学部	510	293	2,923	692	230	80	1,299	197	30	48	69	69	69	89	175	106	106
総合人間科学部	305	162	2,447	344	110	50	628	88	26	24	23	23	23	69	190	60	60
法学部	330	192	3,623	585	107	53	1,160	151	38	32	46	46	46	53	129	59	59
経済学部	330	213	4,984	701	167	47	584	93	27	19	25	25	25	51	110	44	44
外国語学部	500	241	3,738	648	167	72	946	183	37	61	68	68	68	126	261	133	133
総合グローバル学部	220	100	1,345	244	54	40	518	88	31	20	24	24	24	60	159	61	61
国際教養学部	186	–	–	–	–	–	–	–	–	4	4	4	4	37	104	42	41
理工学部	380	150	3,127	608	156	60	465	125	32	134	138	138	138	36	44	15	15
合　計	2,801	1,365	22,267	3,834	999	412	5,649	931	223	348	404	404	404	529	1,188	531	530

※一般入試合格者には、補欠入学許可者を含む

入試区分 / 学部	カトリック高等学校対象特別入試※			海外就学経験者入試			神学部推薦入試			外国人入試		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	13	11	11	1	1	0	0	0	0	1	0	0
文学部	75	45	45	86	39	27	–	–	–	170	10	9
総合人間科学部	101	46	46	99	27	14	–	–	–	224	14	13
法学部	65	43	43	73	30	14	–	–	–	212	20	17
経済学部	50	36	36	85	22	12	–	–	–	285	18	14
外国語学部	73	52	52	105	58	33	–	–	–	24	6	5
総合グローバル学部	55	34	34	105	20	9	–	–	–	50	7	4
国際教養学部	7	6	6	–	–	–	–	–	–	–	–	–
理工学部	16	12	12	59	18	8	–	–	–	191	17	14
合　計	455	285	285	613	215	117	0	0	0	1,157	92	76

※カトリック高等学校対象特別入試の志願者数は、併願を含む

入試区分 / 学部	教育提携校特別推薦入試※			海外指定校入試			社会人入試			国際バカロレア入試（第1期）			国際バカロレア入試（第2期）			難民高等教育プログラム		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	1	1	1	0	0	0	–	–	–	0	0	0	–	–	–	0	0	0
文学部	8	8	8	1	1	1	–	–	–	0	0	0	1	1	1	0	0	0
総合人間科学部	12	12	12	0	0	0	0	0	0	7	7	2	2	0	0	0	0	0
法学部	6	6	6	0	0	0	–	–	–	4	4	0	2	2	1	0	0	0
経済学部	6	6	6	0	0	0	–	–	–	11	9	3	3	0	0	–	–	–
外国語学部	8	8	8	0	0	0	–	–	–	4	3	3	1	1	1	0	0	0
総合グローバル学部	4	4	4	0	0	0	–	–	–	6	4	1	2	2	2	0	0	0
国際教養学部	0	0	0	0	0	0	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	1
理工学部	3	3	3	1	1	1	–	–	–	5	5	0	0	0	0	–	–	–
合　計	48	48	48	2	2	2	0	0	0	37	32	9	11	6	5	1	1	1

※教育提携校特別推薦入試には、上海日本人学校高等部特別推薦入試を含む

2019年度学部春学期入学　全入学試験（国際教養学部書類審査は除く）

入試区分 / 学部	合　計		
	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	168	49	40
文学部	4,807	1,168	526
総合人間科学部	3,733	621	306
法学部	5,320	946	331
経済学部	6,143	954	334
外国語学部	5,228	1,160	507
総合グローバル学部	2,268	488	224
国際教養学部	116	53	52
理工学部	4,049	942	379
合　計	31,832	6,381	2,699

＊国際教養学部　1年次入試

	志願者数	合格者数	入学者数
2018年度秋学期入学・第1期	296	157	63
2018年度秋学期入学・第2期	274	72	34
2019年度春学期入学・第1期	327	110	27
2019年度春学期入学・第2期	91	13	19
合　計	988	352	143

＊理工学部英語コース

	志願者数	合格者数	入学者数
2018年度秋学期入学・第1期	24	13	5
2018年度秋学期入学・第2期	33	10	4
合　計	57	23	9

＊海外指定校（2018年度秋学期入学）

学　部	志願者数	合格者数	入学者数
理工学部	1	1	1
国際教養学部	3	3	3
合　計	4	4	4

学部　編入学試験

入試区分 / 学部	編入学試験			上智短期大学生特別編入学試験（A方式）			上智短期大学生特別編入学試験（B方式）			神学部推薦入学編入		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	＊20	＊4	4	0	0	0	1	0	0	4	4	4
文学部	20	5	3	5	5	5	8	2	2	―	―	―
総合人間科学部	11	1	1	4	4	4	14	4	4	―	―	―
法学部	2	0	0	2	2	2	0	0	0	―	―	―
経済学部	12	3	3	1	1	1	1	0	0	―	―	―
外国語学部	9	6	4	3	3	3	2	2	0	―	―	―
総合グローバル学部	4	1	1	2	2	2	0	0	0	―	―	―
国際教養学部	―	―	―	0	0	0	0	0	0	―	―	―
理工学部	15	5	4	0	0	0	0	0	0	―	―	―
合　計	93	25	20	17	17	17	26	8	6	4	4	4

※2月編入学試験含む

＊国際教養学部　3年次編入学試験

	志願者数	合格者数	入学者数
2018年度秋学期入学	21	8	4
2019年度春学期入学	14	5	5

＊理工学部英語コース　3年次編入学試験

	志願者数	合格者数	入学者数
2018年度秋学期入学	1	1	0

大学院

研究科	博士前期課程				博士後期課程			
	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
神学研究科	20	6	6	6	4	1	1	1
文学研究科	86	122	39	30	24	16	13	13
実践宗教学研究科	10	7	7	7	3	5	3	3
総合人間科学研究科	59	110	51	46	16	10	7	7
法学研究科（法律学専攻）	20	20	4	3	4	3	0	0
経済学研究科	30	375	39	30	4	4	0	0
言語科学研究科	33	75	28	26	5	11	6	6
グローバル・スタディーズ研究科	＊60	127	53	43	＊14	11	4	4
理工学研究科	＊250	237	166	165	＊20	13	13	12
地球環境学研究科	＊60	81	45	39	＊10	5	4	3
合　計	628	1,160	438	395	104	79	51	49

※2018年度秋学期を含む

＊法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）

	定員	志願者数	合格者数	入学者数
2年制コース（8月・9月・1月・合計）	15	59	18	9
3年制コース（8月・9月・1月・合計）	25	86	39	29
小　計	40	145	57	38

＊2018年度秋学期入学

研究科	博士前期課程			博士後期課程		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
グローバル・スタディーズ研究科	121	38	27	8	3	3
理工学研究科	22	18	12	8	8	4
地球環境学研究科	43	37	27	12	7	5
合　計	186	93	66	28	18	12

助産学専攻科

	定員	志願者数	合格者数	入学者数
助産学専攻科	10	29	11	10

※合格者には、補欠入学許可者を含む

卒業・修了者数等

卒業・修了者数

◇学部

学部	卒業者数	備考
神学部	45	
文学部	531	
総合人間科学部	298	
法学部	354	早期卒業者3名
経済学部	364	早期卒業者5名
外国語学部	530	
総合グローバル学部	212	
国際教養学部	174	早期卒業者6名
理工学部	381	
合　計	2,889	

◇専攻科

専攻科	修了者数	備考
助産学専攻科	10	

◇大学院

研究科	博士前期課程、修士課程、専門職学位課程（法科大学院）、修了者数	博士後期課程修了者数	備考
神学研究科	7	0	
哲学研究科	1	0	
文学研究科	36	1	
実践宗教学研究科	9	0	
総合人間科学研究科	39	2	
法学研究科			
法律学専攻	6	0	
法曹養成専攻（法科大学院）	16	―	
経済学研究科	26	0	
言語科学研究科	24	2	
グローバル・スタディーズ研究科	47	2	博士前期課程早期修了2名
理工学研究科	221	12	
地球環境学研究科	76	0	
合　計	508	19	

◇大学院　博士号授与者数

研究科	課程博士	論文博士
神学研究科	1	0
哲学研究科	0	0
文学研究科	3	3
総合人間科学研究科	4	1
法学研究科	0	0
経済学研究科	0	0
言語科学研究科	2	1
グローバル・スタディーズ研究科	3	0
理工学研究科	12	3
地球環境学研究科	2	0
合　計	27	8

退学者数

◇学部

学　部	退学者数
神学部	2
文学部	27
総合人間科学部	9
法学部	13
経済学部	9
外国語学部	15
総合グローバル学部	6
国際教養学部	26
理工学部	18
合　計	125

◇専攻科

専攻科	退学者数
助産学専攻科	0
合　計	0

※退学者数は、2019年5月1日現在決裁済みのものに限る

◇大学院（博士後期課程は満期退学も含む）

研究科	博士前期課程・修士課程・専門職学位課程（法科大学院）	博士後期課程
神学研究科	2	0
哲学研究科	0	2
文学研究科	7	4
実践宗教学研究科	0	0
総合人間科学研究科	4	2
法学研究科		
法律学専攻	0	1
法曹養成専攻（法科大学院）	5	—
経済学研究科	1	1
言語科学研究科	3	2
グローバル・スタディーズ研究科	4	6
理工学研究科	4	2
地球環境学研究科	1	4
合　計	31	24

中退率（学部）・・・3.51％

※2015年4月1日学部入学者のうち、2019年3月までに退学・除籍した学生の割合。但し、編入学・再入学を除く。

進路

2018年度　学部卒業者・大学院修了者の進路　（人）

設置・学部 ＼ 進路区分		就職	進学	その他	未届者	合計
学部		2,304	302	183	100	2,889
	神学部	29	10	4	2	45
	文学部	450	27	36	18	531
	総合人間科学部	239	29	10	20	298
	法学部	298	23	25	8	354
	経済学部	321	9	19	15	364
	外国語学部	463	16	43	8	530
	総合グローバル学部	185	13	9	5	212
	国際教養学部	113	10	32	19	174
	理工学部	206	165	5	5	381
大学院（法科大学院を除く）		333	38	65	75	511
合　計		2,637	340	248	175	3,400

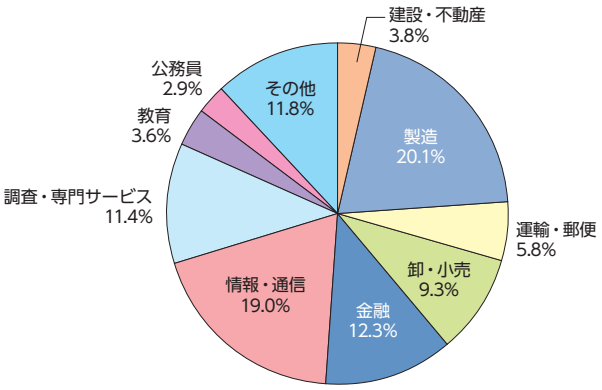
※「その他」は、アルバイト、海外渡航、資格試験勉強、就職活動中（公務員試験勉強中）等を含む。

就職

業種別内定状況

◇全体（学部・大学院）

業種	男	女	計	%
建設・不動産	48	52	100	3.8%
製造	277	253	530	20.1%
運輸・郵便	53	100	153	5.8%
卸・小売	82	163	245	9.3%
金融	128	197	325	12.3%
情報・通信	237	265	502	19.0%
調査・専門サービス	138	163	301	11.4%
教育	38	57	95	3.6%
公務員	28	48	76	2.9%
その他	81	229	310	11.8%
合　計	1,110	1,527	2,637	100.0%



内定上位就職先一覧

◇全体（学部・大学院）

（内定者5名以上の就職先）

順位	企業名	男	女	総計
1	アクセンチュア㈱	13	15	28
2	全日本空輸㈱	4	21	25
3	日本航空㈱	4	20	24
4	㈱三菱UFJ銀行	6	17	23
5	楽天㈱	9	12	21
6	㈱日立製作所	9	10	19
7	富士通㈱	10	8	18
	みずほフィナンシャルグループ	8	10	18
9	㈱NTTデータ	12	5	17
10	東京海上日動火災保険㈱	4	12	16
	三井住友海上火災保険㈱	4	12	16
12	キヤノン㈱	8	6	14
	住友商事㈱	4	10	14
14	アビームコンサルティング㈱	8	5	13
	日本放送協会	3	10	13
	野村證券㈱	6	7	13
17	㈱NTTドコモ	7	5	12
	損害保険ジャパン日本興亜㈱	4	8	12
	トヨタ自動車㈱	7	5	12
	日本生命保険相互会社	4	8	12
	パナソニック㈱	4	8	12
	㈱三井住友銀行	6	6	12
23	ソニー㈱	8	3	11
	本田技研工業㈱	5	6	11
	三井住友信託銀行㈱	1	10	11
	㈱リクルートホールディングス	6	5	11
27	日産自動車㈱	5	5	10
	日本電気㈱	7	3	10
	りそなグループ	4	6	10
30	あいおいニッセイ同和損害保険㈱	2	7	9
	オリンパス㈱	6	3	9
	KDDI㈱	5	4	9
	学校法人上智学院	4	5	9
	第一生命保険㈱	3	6	9
	日本通運㈱	6	3	9
36	SMBC日興証券㈱	6	2	8
	NECソリューションイノベータ㈱	4	4	8
	三菱電機㈱	7	1	8
	三菱UFJ信託銀行㈱	5	3	8
40	キヤノンマーケティングジャパン㈱	2	5	7
	双日㈱	4	3	7

順位	企業名	男	女	総計
40	大和証券㈱	3	4	7
	㈱電通デジタル	1	6	7
	国立大学法人東京医科歯科大学医学部附属病院		7	7
	東京都（公務員）	3	4	7
	日本郵便㈱	3	4	7
	㈱ニトリ	3	4	7
	日本アイ・ビー・エム㈱	3	4	7
	㈱マルハニチロホールディングス	5	2	7
	三井物産㈱		7	7
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	5	2	7
52	伊藤忠商事㈱	3	3	6
	NTTコミュニケーションズ㈱	2	4	6
	㈱ジェーシービー		6	6
	㈱資生堂	3	3	6
	新日鐵住金㈱	3	3	6
	ソフトバンク㈱	6		6
	ダイキン工業㈱	1	5	6
	東京ガス㈱	3	3	6
	㈱日本総合研究所	4	2	6
	㈱ネオキャリア	2	4	6
	㈱野村総合研究所	5	1	6
	パーソルキャリア㈱	3	3	6
	東日本電信電話㈱	3	3	6
	東日本旅客鉄道㈱	3	3	6
	㈱ベクトル	2	4	6
	㈱三越伊勢丹ホールディングス	2	4	6
	明治安田生命保険相互会社	2	4	6
	ヤフー㈱	2	4	6
	㈱リコー	2	4	6
71	㈱あおぞら銀行	3	2	5
	アマゾンジャパン㈱	2	3	5
	EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング㈱	3	2	5
	SCSK㈱		5	5
	㈱電通	2	3	5
	㈱東芝	3	2	5
	虎の門病院（国家公務員共済組合連合会）		5	5
	日本アイ・ビー・エム・サービス㈱	2	3	5
	㈱日立システムズ	2	3	5
	㈱ベネッセコーポレーション	1	4	5
	㈱リクルートキャリア	2	3	5

国家試験・資格等

国家公務員等試験合格状況

2019年3月31日現在

年度	2018年度		
試験区分	上智大学 合格数		試験全体 合格数（人）
	全合格者数	うち既卒者数	
国家総合職（大卒）	9	0	1,303
国家総合職（院卒）	3	*	650
国家一般職	34	11	7,782
外務省専門職員	1	*	49
財務専門官	2	1	526
国税専門官	15	4	3,479
労働基準監督官	2	2	612
裁判所事務官総合職	2	*	27
裁判所事務官一般職	12	*	1,131
家庭裁判所調査官補（院卒）	1	*	15
防衛省職員専門職	11	4	121
自衛隊幹部候補	3	0	*
航空管制官	2	1	133
司法試験	18	15	1,525
公認会計士	16	14	1,305
看護師	68	0	56,767
保健師	19	0	6,852
助産師	10	0	2,096

＊は非公開につき不明　　資料提供：人事院他

教育職員免許状取得者数

2019年3月31日現在

	中学校1種	高校1種	中学校専修	高校専修	養護1種	合計
国語	4	4	1	1	ー	10
社会	26	ー	3	ー	ー	29
数学	10	11	0	0	ー	21
理科	10	10	3	3	ー	26
宗教	8	8	1	1	ー	18
地理歴史	ー	20	ー	3	ー	23
公民	ー	31	ー	1	ー	32
英語	35	36	4	4	ー	79
ドイツ語	0	0	0	0	ー	0
フランス語	3	4	0	0	ー	7
イスパニア語	ー	0	0	0	ー	0
ロシア語	ー	1	0	0	ー	1
ポルトガル語	ー	2	0	0	ー	2
情報	ー	4	ー	0	ー	4
工業	ー	1	ー	0	ー	1
福祉	ー	0	ー	0	ー	0
養護	ー	ー	ー	ー	9	9
合計	96	132	12	13	9	262

※数字は延べ人数
※ーは課程認定なし
※一括申請受付分

国際交流

交換留学協定校数・学術交流協定校数、派遣／受入交換留学生数

2019年3月31日現在

国・地域		交換留学・学術交流協定校数	2018年度派遣交換留学生数（上智→海外）	2018年度受入交換留学生数（海外→上智）
アジア	大韓民国	8	3	13
	中華人民共和国	20（5）	5	33
	台湾	3	3	11
	ベトナム社会主義共和国	3（1）	1	3
	カンボディア王国	2（2）		
	タイ王国	8（4）	4	4
	シンガポール共和国	3（1）	1	1
	フィリピン共和国	3	10	1
	インドネシア共和国	5	1	8
	マレーシア	4（1）		6
	モンゴル国	1（1）		
	インド	12（11）		
	スリランカ民主社会主義共和国	1（1）		
	ミャンマー連邦共和国	1（1）		
	ラオス人民民主共和国	1（1）		
中東	トルコ共和国	1		1
	ヨルダン・ハシミテ王国	1（1）		
	レバノン共和国	1		1
	イスラエル国	1（1）		
ヨーロッパ	英国	15（3）	13	14
	アイルランド	1	1	4
	オーストリア共和国	1	2	2
	スウェーデン王国	1	2	3
	ノルウェー王国	1	5	8
	フィンランド共和国	2	1	9
	デンマーク	1		2
	ベルギー王国	3		2
	ルクセンブルク大公国	1	5	2
	ドイツ連邦共和国	28	70	56
	フランス共和国	26（2）	42	52
	イタリア共和国	7（1）	4	9
	スペイン	14	10	11
	スイス連邦	4	1	3
	オランダ王国	3	3	11
	ポルトガル共和国	4	4	2
	ロシア連邦	9	12	9
	コソボ共和国	1（1）		
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1（1）		

国・地域		交換留学・学術交流協定校数	2018年度派遣交換留学生数（上智→海外）	2018年度受入交換留学生数（海外→上智）
ヨーロッパ	ポーランド共和国	2		
	ハンガリー	1		
	チェコ共和国	1	1	
	クロアチア共和国	1	2	
	ウズベキスタン共和国	1	1	
	ベラルーシ共和国	1	2	
	アイスランド	1		
	リトアニア共和国	2		
	リヒテンシュタイン公国	1		
	北マケドニア共和国	1（1）		
	カザフスタン共和国	1		1
	スロベニア共和国	1		
北米	アメリカ合衆国	77（3）	100	125
	カナダ	7	10	9
中南米	メキシコ合衆国	9（2）	2	13
	コロンビア共和国	2	2	7
	ブラジル連邦共和国	5	7	3
	アルゼンチン共和国	2		3
	チリ共和国	2	3	2
	コスタリカ共和国	1（1）		
	ペルー共和国	1	2	1
	ウルグアイ東方共和国	1		2
	グアテマラ共和国	1		
	ジャマイカ	1（1）		
オセアニア	オーストラリア	15	22	34
	ニュージーランド	1	1	1
	フィジー	1		
	ミクロネシア	1（1）		
アフリカ	南アフリカ共和国	1	2	1
	ベナン共和国	1		
	カメルーン共和国	1		
	コートジボワール共和国	1		
	ガーナ共和国	1（1）		
	ブルキナファソ	1（1）		
合　計		349（50）	360	483

※協定校数（　）内は内数で学術交流協定校（学生交換は行っていない）
※交換留学生数は、ACUCAコンソーシアム加盟大学への派遣・受入留学生および在外履修制度による派遣・受入学生を含む

海外短期語学講座・海外短期研修　参加者数

海外短期語学講座	夏期（8月～9月）	148
	春期（2月～3月）	193
海外短期研修	夏期（8月～9月）	44
	春期（2月～3月）	36
合　計		421

実践型プログラム（短期）参加者数

グローバルリーダーシップ・プログラム	夏期（8月）	6
AJCU-APサービスラーニング・プログラム※	夏期（8月）	9
カンボジア・サービスラーニング・プログラム	夏期（8月）	8
インド・サービスラーニング・プログラム	春期（2月）	10
インドの社会経済・人間開発に学ぶ：南インドのケララ州を実例に	夏期（9月）	–
国際公務員をめざして（実務型国連研修）	夏期（8月）	1
ミクロネシア・エクスポジャーツアー	夏期（9月）	12
アフリカに学ぶ	夏期（8月）	14
	春期（2月）	9
メコン経済回廊スタディツアー：肌で感じるASEAN共同体	春期（3月）	20
エストニア・スタディツアー	夏期（9月）	10
ペルースタディツアー「往還する南米日系人」	春期（2-3月）	8
国連の役割と機能（国連集中研修）	春期（2月）	34
ワシントンDC・国際政治の現場を学ぶ	春期（3月）	–
合　計		141

※18年度は本学で開催

実践型プログラム（長期）参加者数

国連ユースボランティア	秋学期	2

グローバル教育センター科目による海外派遣（インターンシップ科目含む）　参加者数

プログラム名	参加者数
グローバルインターンシップ科目（短期）	28
グローバルインターンシップ科目（長期）	2
東アジアの諸問題とイエズス会教育	20
合　計	50

外国人留学生対象短期プログラム Sophia Short-term Program参加者数

プログラム名	参加者数
Summer Session in Japanese Language	93
Summer Session in East Asian Studies	154
Summer School for Chinese Students(Stay in Tokyo)	135
Summer Session in Global Environmental Studies	11
January Session in Japanese Studies	95
西南大学	28
Winter School for Chinese Students(Stay in Tokyo)	95
Winter Session in Global Environmental Studies	52
Northeastern University Program	17
中国学生向けMediaプログラム	17
合　計	697

交換留学協定校・学術交流協定校

北米

Canada
- アルバータ大学
- ウエスタン・オンタリオ大学キングスカレッジ
- ビクトリア大学
- ブリティッシュ・コロンビア大学
- マギル大学
- モントリオール大学
- ラヴァル大学

U.S.A.
- アメリカ・カトリック大学
- アリゾナ州立大学
- アリゾナ大学
- イェール大学
- ヴァージニア大学
- ウィスコンシン大学ホワイトウォーター校
- ウィスコンシン大学マディソン校
- ウィッテンバーグ大学
- ウィノナ州立大学
- ウェスト・ジョージア大学
- ウェスト・フロリダ大学
- オクシデンタル大学
- カニシウス・カレッジ ※2
- カリフォルニア州立大学フラトン校
- カリフォルニア大学バークレー校 ※1
- カンザス大学
- クレイトン大学 ※2
- クレムソン大学
- コネチカット大学
- コロラド大学ボルダー校
- ゴンザガ大学 ※2
- ザビエル大学 ※2
- サフォック大学
- サンタ・クララ大学 ※2
- サンディエゴ州立大学
- サンノゼ州立大学
- サンフランシスコ大学 ※2
- シアトル大学 ※2
- シートン・ホール大学
- ジョージ・メイソン大学
- ジョージ・ワシントン大学 ※1
- ジョージア大学
- ジョージタウン大学 ※2
- ジョン・キャロル大学 ※2
- スクラントン大学
- セント・ジョセフ大学 ※2
- セント・ジョンズ大学（ニューヨーク）
- セント・トーマス大学
- セント・ノバート・カレッジ
- セント・ピーターズ大学 ※2
- セント・メリーズ・カレッジ・オブ・カリフォルニア
- セント・メリーズ大学
- テキサス大学オースティン校
- デサレス大学
- テネシー工科大学
- デュケイン大学
- ニュースクール大学
- ノース・カロライナ州立大学
- ノース・カロライナ大学シャーロット校
- ノース・カロライナ大学チャペルヒル校
- ノース・フロリダ大学
- ノースウェスト・ミズーリ州立大学
- ハヴァフォード・カレッジ
- ハワイ大学マノア校
- ピッツバーグ大学
- フェアフィールド大学
- フォーダム大学 ※1 ※2
- ペイス大学
- ペンシルバニア大学
- ポートランド大学
- ホーリークロス・カレッジ ※2
- ボストン・カレッジ ※2
- マイアミ大学
- マサチューセッツ大学アマースト校
- マサチューセッツ大学ボストン校
- マルケット大学
- ミシシッピ大学
- ミズーリ大学コロンビア校
- ミネソタ大学
- モンタナ大学
- ヨーク・カレッジ・オブ・ペンシルヴァニア
- ルイジアナ大学ラファイエット校
- ル・モイン大学 ※2
- ロヨラ・メアリーマウント大学 ※2
- ロヨラ大学シカゴ ※2
- ロヨラ大学ニューオリンズ
- ワシントン&ジェファーソンカレッジ

小計……84校

アジア

Cambodia
- 王立プノンペン大学 ※1
- カンボジア王立芸術大学 ※1

China
- 内モンゴル工業大学 ※1
- 外交学院
- 華中科技大学 ※1
- 清華大学
- 中央財経大学
- 中国人民大学
- 燕山大学 ※1
- 電子科技大学 ※1
- ハルピン工業大学
- 武漢大学
- 北京外国語大学
- 北京第二外国語大学 ※1
- 香港科技大学
- 香港大学
- 香港城市大学
- 香港中文大学
- マカオ大学
- 南開大学
- 復旦大学
- 厦門大学

India
- アサンプション・カレッジ ※1
- クライスト大学
- クリスツ・ジャヤンティ・カレッジ ※1
- ジャダプール大学 ※1
- セント・アロイシウス・カレッジ ※1 ※2
- セント・ザビエルズ・カレッジ(アーメダバード) ※1 ※2
- セント・ザビエルズ・カレッジ(コルカタ) ※1 ※2
- セント・ザビエルズ・カレッジ(ムンバイ) ※1 ※2
- セント・ジョセフズ・カレッジ(バンガロール) ※1 ※2
- セント・テレサズ・カレッジ ※1
- セント・ベルヒマンス・カレッジ ※1
- ロヨラ・カレッジ・オブ・ソーシャル・サイエンス ※1 ※2

Indonesia
- インドネシア大学
- ガジャ・マダ大学
- サナタダルマ大学 ※1 ※2
- ペトラ・クリスチャン大学
- ボゴール農科大学

Laos
- ラオス国立大学 ※1

Malaysia
- マラヤ大学
- マレーシア北大学 ※1
- マレーシア工科大学
- マレーシア国民大学

Mongolia
- モンゴル科学技術大学 ※1

Myanmar
- ヤンゴン工科大学 ※1

Philippines
- アテネオ・デ・マニラ大学 ※2
- デラサール大学
- フィリピン大学

South Korea
- ソウル大学
- 延世大学
- 釜山大学人文学部
- 韓国カトリック大学
- 韓国外国語大学
- 淑明女子大学
- 西江大学 ※2
- 大邱カトリック大学校

Singapore
- イェールNUS大学
- シンガポール経営大学
- 南洋理工大学 ※1

Sri Lanka
- コロンボ大学 ※1

Taiwan
- 国立政治大学
- 国立台湾大学
- 輔仁カトリック大学

Thailand
- コンケン大学 ※1
- 泰日工業大学 ※1
- ザビエル学習コミュニティー ※1 ※2
- タマサート大学
- チェンマイ大学
- チュラロンコン大学
- マヒドン大学
- モンクット王工科大学トンブリー校 ※1

Vietnam
- カントー大学 ※1
- ベトナム国立大学ハノイ校・社会人文学院
- 貿易大学

小計……75校

中南米

Argentina
- エル・サルバドール大学
- コルドバ・カトリック大学 ※2

Brazil
- カンピーナス大学
- サンパウロ・カトリック大学
- サンパウロ大学
- ブラジリア大学
- リオ・グランデ・ド・スル・カトリック大学

Chile
- アルベルト・ウルタード大学 ※2
- 教皇庁立チリ・カトリック大学

Colombia
- ハベリアナ大学
- ロスアンデス大学

Costa Rica
- 平和大学 ※1

Guatemala
- ラファエル・ランディヴァール大学 ※2

Mexico
- イベロアメリカ大学 ※2
- インスティチュート・モラ ※1
- グアダラハラ大学
- グアナファト大学
- メキシコ国立自治大学
- メキシコ西部工科大学 ※2
- メキシコ自治工科大学
- メキシコ大学院大学 ※1
- モンテレー工科大学

Peru
- 教皇庁立ペルー・カトリック大学

Uruguay
- ウルグアイ・カトリック大学 ※2

West Indies
- 西インド諸島大学 ※1

小計……25校

※1 学術交流協定のみ
※2 イエズス会大学

ヨーロッパ

Austria
グラーツ大学
Belarus
ベラルーシ国立大学
Belgium
アントワープ大学
ナミュール大学 ※2
ルーヴァン・カトリック大学
Bosnia-Herzegovina
サラエボ大学 ※1
Croatia
ザグレブ経済経営大学
Czech
アングロ・アメリカン大学
Denmark
オルフス大学経営学院
Finland
アールト大学経済学院
ハンケン経済大学
France
EAC芸術・文化・宝飾品ビジネススクール
ESCEMビジネスマネジメントスクール
アンジェ大学
アンジェ高等商業科学大学
アンジェ西カトリック大学
エクス・マルセイユ大学
エセックビジネススクール
グルノーブル政治学院
国立東洋言語文化大学
ストラスブール大学
トゥールーズ・カトリック大学
ネオマビジネススクール
パリカトリック学院
パリ第10大学
パリ第2大学
パリ政治学院
パリ・ドフィーヌ大学
フランシュ・コンテ大学
フランス極東学院 ※1
ブルゴーニュビジネススクール
ボルドー・モンテーニュ大学
リールカトリック大学
リール大学
リヨンカトリック大学
リヨン第3大学
ロレーヌ大学 ※1
Germany
アイヒシュテット・カトリック大学
アルベルト・ルートヴィヒ大学フライブルグ
ヴィアドリナ欧州大学
ヴィッテン・ヘルデッケ大学
ヴュルツブルク大学
エアフルト大学
ケルン大学
ザールラント大学
ザンクトゲオルゲン哲学神学大学 ※2
チュービンゲン大学
デュイスブルク=エッセン大学
デュッセルドルフ大学
トリアー大学
ニュルンベルク工科大学
パーダーボルン大学
ハイデルベルク大学
バイロイト大学
ハンブルク大学
バンベルク大学
ブレーメン州立経済工科大学
ベルリン工科大学
ベルリン自由大学
ボン大学
マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンヴェルク
ミュンヘン大学
ミュンヘン哲学大学
ルートヴィヒスハーフェン経済大学
ロストック大学
Hungary
ペーチ大学
Iceland
アイスランド大学
Ireland
ダブリン・シティ大学
Italy
「サピエンツァ」ローマ大学
カ・フォスカリ ヴェネツィア大学
カリアリ大学
カルロ・カッタネオ大学
サクロ・クオーレ・カトリック大学
ペルージャ外国人大学 ※1
国立ナポリ東洋大学
Kazakhstan
カザフ国立大学
Kosovo
プリシュティナ大学 ※1
Liechtenstein
リヒテンシュタイン大学
Lithuania
ヴィータウタス・マグヌス大学
ヴィリニュス大学
Luxemburg
ルクセンブルク大学
Netherlands
アムステルダム大学社会行動科学部
ライデン大学
ロッテルダムビジネススクール
North Macedonia
聖キリル・メトディウス大学 ※1
Norway
オスロ大学
Poland
ヤギェウォ大学
ワルシャワ工科大学
Portugal
アヴェイロ大学
コインブラ大学
ポルト大学
ミーニョ大学
Russia
ヴォロネジ国立大学
極東連邦大学
ゲルツェン名称ロシア国立教育大学
サンクト・ペテルブルグ国立大学
サンクト・ペテルブルグ国立文化大学
ペトロザヴォーツク国立大学
モスクワ国立言語大学
リャザン国立大学
ロモノーソフ名称モスクワ国立大学
Slovenia
リュブリャナ大学
Spain
コルドバ大学
サラマンカ大学
セビーリャ大学
デウスト大学
ハエン大学
バルセローナ自治大学
バレンシア・カトリック大学
バレンシア大学
ブルゴス大学
マドリッド自治大学
ラス・パルマス・デ・グラン・カナリア大学
ラ・ラグーナ大学
ロヨラ・アンダルシア大学 ※2
教皇庁立コミーリャス大学 ※2
Sweden
ウプサラ大学
Switzerland
ザンクト・ガレン大学
ジュネーブ大学
ジュネーブ国際・開発研究大学院
チューリッヒ応用科学大学
U.K.
イースト・アングリア大学
エディンバラ大学
シェフィールド大学
スターリング大学
セントメアリーズ大学
ニューカッスル大学
ハートフォードシャー大学
バース大学 ※1
バーミンガム大学
ヨーク・セント・ジョン大学
リーズ大学
リバプールホープ大学 ※1
レディング大学
ロンドン大学バークベック・カレッジ ※1
ロンドン大学東洋アフリカ研究学院
Uzbekistan
タシケント国立東洋学大学
小計……137校

オセアニア

Australia
アデレード大学
ウェスタンシドニー大学
ウーロンゴン大学
オーストラリア・カトリック大学
クイーンズランド大学
グリフィス大学
シドニー工科大学
シドニー大学
ディーキン大学
ノートルダムオーストラリア大学
マッコーリー大学
メルボルン大学
ラ・トローブ大学
ロイヤルメルボルン工科大学
西オーストラリア大学
Fiji
南太平洋大学
Micronesia
ミクロネシア大学 ※1
New Zealand
オークランド大学
小計……18校

中東

Israel
テルアビブ大学 ※1
Jordan
ヨルダン大学 ※1
Lebanon
サンジョセフ大学 ※1
Turkey
イスタンブル・ビルギ大学
小計……4校

アフリカ

Benin
アボメカラヴィ大学
Burkina Faso
ウワガⅡ大学 ※1
Cameroon
中央アフリカ・カトリック大学
Cote d'Ivoire
平和研究・活動センター ※2
South Africa
ステレンボッシュ大学
Ghana
ザ・カトリック・インスティチュート・オブ・ビジネス・アンド・テクノロジー ※1
小計……6校

学生納付金

学部新入生

（単位：円）

	神学部・文学部・総合人間科学部（心理学科・看護学科を除く）・法学部・経済学部・外国語学部・総合グローバル学部	心理学科	看護学科	理工学部
合　計	1,260,450	1,336,450	1,798,950	1,745,950

※国際教養学部、理工学部物質生命理工学科グリーンサイエンスコース・機能創造理工学科グリーンエンジニアリングコースを除く

学部在学生

（単位：円）

	神学部・文学部・総合人間科学部（心理学科・看護学科を除く）・法学部・経済学部・外国語学部・総合グローバル学部		心理学科		看護学科		理工学部	
	2017年度入学者	2016年度以前入学者	2017年度入学者	2016年度以前入学者	2017年度入学者	2016年度以前入学者	2017年度入学者	2016年度以前入学者
合　計	1,038,000	963,000	1,064,000	989,000	1,576,500	1,581,500	1,523,500	1,448,500

※国際教養学部、理工学部物質生命理工学科グリーンサイエンスコース・機能創造理工学科グリーンエンジニアリングコースを除く

国際教養学部

（単位：円）

	2018年度入学者	2017年度入学者	2016年度以前入学者
入学金	200,000	―	―
在籍料	30,000	30,000	30,000
授業料	31,700	31,700	30,600
教育充実費	124,800	105,000	100,000
同窓会費	―	―	5,000
学生教育研究災害傷害保険料	2,650	―	―

理工学部物質生命理工学科グリーンサイエンスコース・機能創造理工学科グリーンエンジニアリングコース

（単位：円）

	2018年度入学者	2017年度入学者	2016年度以前入学者
合　計	984,200	761,750	726,750

大学院新入生

（単位：円）

	博士前期課程				修士課程	博士後期課程		
	文科系研究科（心理学専攻を除く）	心理学専攻（基礎心理学コース）	心理学専攻（臨床心理学コース）	理工学研究科	看護学専攻	文科系研究科（心理学専攻を除く）	心理学専攻	理工学研究科
合　計	921,400	951,400	1,001,400	1,597,900	1,439,400	803,100	833,100	1,023,600

※法曹養成専攻、地球環境学研究科、理工学専攻グリーンサイエンス・エンジニアリング領域、グローバル社会専攻を除く

大学院在学生

（単位：円）

		文科系研究科（心理学専攻・看護学専攻を除く）			心理学専攻			看護学専攻（修士課程）		理工学研究科		
		2017年度入学者	2016年度入学者	2015年度以前入学者	2017年度入学者	2016年度入学者	2015年度以前入学者	2017年度入学者	2016年度以前入学者	2017年度入学者	2016年度入学者	2015年度以前入学者
合　計	博士前期課程	760,000	720,800	720,800	790,000	750,800	750,800	1,278,000	1,238,800	1,436,500	1,397,300	1,397,300
	博士後期課程	601,000	601,000	601,800	631,000	631,000	631,800	―	―	821,500	821,500	822,300

※法曹養成専攻、地球環境学研究科、理工学専攻グリーンサイエンス・エンジニアリング領域、グローバル社会専攻を除く

大学院長期履修制度

（単位：円）

	総合人間科学研究科社会福祉学専攻　博士前期課程			総合人間科学研究科看護学専攻攻　修士課程	
	2018年度入学者	2016・2017年度入学者	2015年度以前入学者	2018年度入学者	2016・2017年度入学者
合　計	702,100	500,000	720,800	1,047,430	845,330

法学研究科法曹養成専攻

（単位：円）

	標準（3年制）コース			短縮（2年制）コース		
	2018年度入学者	2016・2017年度入学者	2015年度以前入学者	2018年度入学者	2017年度入学者	2016年度以前入学者
合　計	1,466,020	1,169,000	1,171,440	1,443,680	1,209,000	1,171,440

地球環境学研究科

1. 春入学（国際環境コースを除く）

（単位：円）

	博士前期課程			博士後期課程		
	2018年度入学者	2017年度入学者	2016年度以前入学者	2018年度入学者	2016・2017年度入学者	2015年度以前入学者
合　計	1,032,400	871,000	831,800	869,100	667,000	667,800

2. 秋入学及び国際環境コース

（単位：円）

	博士前期課程			博士後期課程		
	2018年度入学者	2017年度入学者	2016年度以前入学者	2018年度入学者	2016・2017年度入学者	2015年度以前入学者
合　計	616,900	455,500	416,300	535,600	333,500	334,300

理工学研究科理工学専攻グリーンサイエンス・エンジニアリング領域

（単位：円）

	博士前期課程			博士後期課程		
	2018年度入学者	2017年度入学者	2016年度以前入学者	2018年度入学者	2016・2017年度入学者	2015年度以前入学者
合　計	899,650	738,250	699,050	612,850	410,750	411,550

グローバル・スタディーズ研究科グローバル社会専攻

（単位：円）

	博士前期課程			博士後期課程		
	2018年度入学者	2017年度入学者	2016年度以前入学者	2018年度入学者	2016・2017年度入学者	2015年度以前入学者
合　計	561,400	400,000	360,800	502,600	300,500	301,300

助産学専攻科

（単位：円）

	2018年度入学者
合　計	1,400,800

国際教養学部・言語教育研究センター Non-Degree

（単位：円）

	2018年度入学者	摘 要
履修費	33,600	1単位につき
教育充実費	105,000	各学期

理工学部物質生命理工学科グリーンサイエンスコース・機能創造理工学科グリーンエンジニアリングコース Non-Degree

（単位：円）

	2018年度入学者	摘要
履修費	616,800	各学期
教育充実費	145,000	各学期

グローバル・スタディーズ研究科 グローバル社会専攻　Non-Degree

（単位：円）

	2018年度入学者	摘要
履修費	270,000	各学期
教育充実費	90,000	各学期

奨学金

新入生奨学金	対　象	本学を第一志望とする学部新入生及び大学院新入生。経済的理由により入学が困難、かつ本学に入学する以前の成績が優秀な者。入試出願と同時期に要申請。
	給付額	初年度の授業料相当額、授業料半額相当額、授業料3分の1相当額のいずれか。
ジョン・ニッセル杯奨学金	対　象	本学の学部入学を許可された者のうち、入学以前の学校在籍時に本学が主催するジョン・ニッセル杯において3 位までに入賞した者。
	給付額	入学初年度の授業料相当額、半額相当額、3分の1相当額のいずれか。
修学奨励奨学金	対　象	学業成績が良好であるにもかかわらず、経済的理由で学業の継続が困難と認められる学部生及び大学院生（家計支持者の死亡等による家計急変者については募集の時期に関わらず対象）。
	給付額	授業料相当額、授業料半額相当額、授業料3分の1相当額のいずれか。
大規模災害による学生納付金減免及び生活支援金給付	対　象	災害救助法に適用された地域に本人または保証人住所を持つ本学学生（原則として正規生）。
	給付額	入学金。授業料については全壊：授業料相当額、半壊：授業料半額相当額のいずれか。また生活支援金として、自宅外通学者5万円、自宅通学者3万円給付。
利子補給奨学金	対　象	上智大学が提携する金融機関のローンを契約し学費を納入した者。
	給付額	教育ローン利息分（上限あり）
デュアルディグリープログラム奨学金	対　象	デュアルディグリープログラムに参加する博士前期課程グローバルスタディーズ研究科グローバル社会専攻生
	給付額	留学中の本学授業料及び教育充実費相当額
若手研究者育成奨学金	対　象	研究業績が優秀な博士後期課程学生
	給付額	200,000円
法科大学院在学生特別奨学金	対　象	学業成績等が優秀で、将来国内外の様々な社会的要請に貢献できる優秀な法曹に至る見込みのある法科大学院在学生
	給付額	授業料相当額または授業料半額相当額
外国人留学生生活支援奨学金	対　象	学業成績良好かつ経済的支援が必要と思われる私費外国人留学生
	給付額	600,000円
篤志家奨学金		篤志家の寄付による奨学金で、それぞれの篤志家の意向に適合すると認められる優秀な学生を支援するもの。 〈出願制〉 ・森善文・母子家庭父子家庭支援（母子・父子家庭の学部生・大学院生）・松本あす加・ドイツ語学科（ドイツ語圏への留学が決定し、経済的理由により学業の継続が困難なドイツ語学科生）・理工学部同窓会（理工学部開講の「夏期・春期休暇海外短期研修プログラム」参加学生）・教育学科（教育学科生）・竹島久子イギリス研究（イギリス留学決定者またはイギリスに強い関心を持ち、イギリス文学、政治、経済、外交、歴史等イギリスを研究領域とする日本人の学部3年次生、4年次生及び大学院生）・テイヤール・ド・シャルダン（優秀な課題論文を提出した学部4年次生及び大学院生）・優心（心理学科に所属する関東地方を除く地域から進学した自宅外通学生）・経済学部・経鷲会（海外留学経験者、ボランティア、ゼミ、部・サークル活動で成果を上げた経済学部生）・学生寮（学業、課外活動、その他社会貢献活動で活躍している学部生・大学院生）・VOLVO　GLOBAL CHALLENGE SCHOLARSHIP（グローバル社会における諸問題に関心があり、将来グローバル企業等で活躍する高い志を持つ学部1年次生～ 3年次生及び大学院博士前期課程1年次生）・理工学振興会（理工学研究科生）・創立100周年上智・聖母看護（看護学科を第一志望に受験した一般入試成績上位者）・フランク　アンド　ジェーン・スコリノス（学部生、学業成績が良好で経済的理由で学業の継続が困難な者）　・安達（東南アジア・アフリカ諸国からの私費外国人留学生）・小高（学部生、学業成績が良好で経済的理由で学業の継続が困難な私費外国人留学生）・センチュリー（アジア諸国出身の私費外国人留学生）・アジア留学生（東・東南アジアからの学部1年次生および大学院1年次生を除く私費外国人留学生）・ダイキン留学生（論文を提出しその評価が優れている私費外国人留学生）・住友商事（ベトナム国籍を有する私費外国人留学生）・第一興商（東南アジア及び東アジアからの私費外国人留学生） 〈推薦制〉 ・哈爾濱学院顕彰（ロシア・ソ連研究を志し、それを証する成果を上げたロシア語学科生及び大学院生）・大泉（文・総合人間科学部生）・国文（国文学科・国文学専攻生）・セントルイス（フランス文学科生及びフランス文学専攻生）・ラッセル・ブラインズ（新聞学科3年次生・4年次生）・CNA保険（日本国籍を有し、学業成績が優秀で、文化、政治、法律及び経済のいずれかの分野で国際研究を行う神・理工を除く各学部3年次生・4年次生）・西村（イスパニア語学科生）・沼田拓実（化学分野を専攻する理工学部生）・独文・独語（ドイツ文学科生及びドイツ語学科生）・神学部（神学部生）　・熊谷（神学研究科生）・創立100周年上智・聖母看護（看護学科生）・愛和会緩和ケア看護（がん・緩和ケア看護の分野を学ぶ総合人間科学研究科看護学専攻学生）・レモス（国際教養学部生）・ソフィアLAWファンドA制度（法学部及び法科大学院生）・ソフィアLAWファンドB制度（公開学習センター開講「リーガルライティング講座」を受講する法学部及び法科大学院生）・経鷲会（経済学部生）・後援会（修学奨励奨学金受給者のうち経済的に困難で学業成績が良好な学部生）・英語学科先哲（学部生）・伊藤鎮（海外の学会で研究成果を発表する理工学研究科理工学専攻機械工学領域学生）・原子物理学国際交流（原子物理学を研究する大学院生のうち、奨学金による補助が必要な留学生、あるいは国際会議等での発表にあたり奨学金による補助が必要な学生）・フランシスコ・スアレス（大学及び入学試験の成績が優秀で、将来国内外の様々な社会的要請に貢献できる優秀な法曹に至る見込みのある法科大学院新入生）・留学生修学支援（私費外国人留学生）・ヴァカーリ（国際教養学科の2年次生～ 4年次生の私費外国人留学生）・ロベール・J・バロン（グローバル社会専攻および国際教養学部の私費外国人留学生） 〈その他〉 ・四枢機卿奨学金（ミャンマー司教団等から推薦されたカトリック信者）
海外指定校奨学金		本学を第一希望とし、本学海外指定校からの推薦を受け入学が許可された私費外国人留学生を対象に奨学金を給付するもの。 ・海外指定校奨学金（インドネシア）・海外指定校奨学金（ミクロネシア）

研究・知的財産等

教育・研究事業の採択状況

(a) 文部科学省　スーパーグローバル大学等創成支援事業（タイプB）［2014年度～ 2023年度］
「多層的ハブ機能を有するグローバルキャンパスの創成と支援ガバナンスの確立」
(b) 文部科学省　私立大学研究ブランディング事業
「持続可能な地域社会の発展を目指した「河川域」をモデルとした学融合型国際共同研究」
「『人間の安全保障』実現に取り組む国際的研究拠点大学としてのブランド形成」
(c) 文化庁　文化遺産国際協力拠点交流事業
「アセアン10ヵ国における文化遺産の継承と博物館の新しい役割のための拠点交流事業」
(d) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構　現代中東地域研究に関する研究協力の協定
［第三期　2016年度～ 2021年度］
(e) 文部科学省　大学の世界展開力強化事業（中南米等との大学間交流形成支援）［2015年度～ 2019年度］
「人の移動と共生における調和と人間の尊厳を追求する課題解決型の教育交流プログラム」
(f) 文部科学省　大学の世界展開力強化事業（COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援）［2018年度～ 2022年度］
「人間の安全保障と多文化共生に係る課題発見型国際協働オンライン学習プログラムの開発」

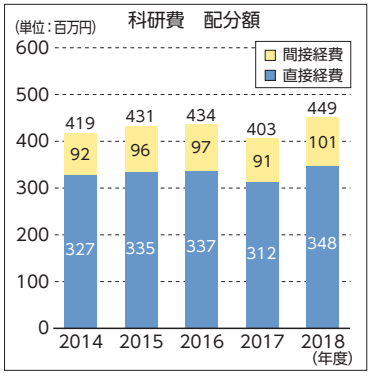
科学研究費助成事業（科研費）（文部科学省・日本学術振興会）

（※括弧内は2017年度との比較。金額は百万円未満四捨五入）

件数	238件（4件増）
金額	449百万円（46百万円増）
直接経費	348百万円（36百万円増）
間接経費	101百万円（10百万円増）

（単位：百万円）

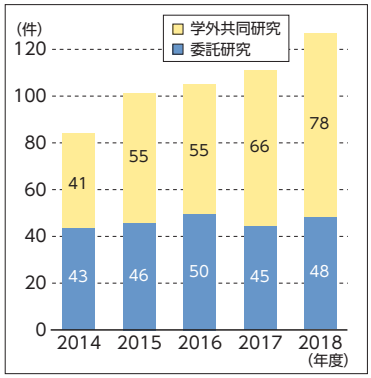
年度		2014	2015	2016	2017	2018
採択件数		197	195	217	234	238
金額	直接経費	327	335	337	312	348
	間接経費	92	96	97	91	101
	合計額	419	431	434	403	449



委託研究・学外共同研究（※括弧内は2017年度との比較）

委託研究	48件（3件増）
学外共同研究	78件（12件増）

年度	2014	2015	2016	2017	2018
委託研究	43	46	50	45	48
学外共同研究	41	55	55	66	78



知的財産（※括弧内は2017年度との比較）

特許出願・登録状況	特許出願件数	28件	国内：22件（2件減）、海外：6件（1件減）
	特許登録件数	13件	国内：10件（5件減）、海外：3件（4件減）
発明に係る褒賞授与	2019年2月、研究活動において発明を創出し、本学の知的財産の発展に寄与した特許発明者28人に、褒賞金が支払われた。		

事業の概要

上智大学の3名に対するカンボジア王国からの勲章授与

2018年12月4日、カンボジア王国シェムリアップ市にて開催された第25回ICC会議(注1)において、カンボジア王国のプーン・サコナ文化芸術省大臣(注2)より、石澤良昭教授（アジア人材養成研究センター所長）ら３名にカンボジア王国の勲章が授与されました。

今回の勲章授与は、上智大学の長年にわたるアンコール・ワット西参道修復工事、ならびにカンボジア人専門家の人材養成に対する貢献とその成果が高く評価されたことによるものです。

長年、修復工事と人材養成の現場の責任者を務めてきた石澤良昭教授、アンコール・ワット西参道修復工事を大学として推進することを全面的に支援してきた髙祖敏明特任教授（前上智学院理事長）、修復工事の施工基本計画を取り纏めた平山善吉アジア人材養成研究センター客員教授の３名が受章対象となりました。

受章者と受章した勲章は以下のとおりです。

髙祖敏明特任教授　サハメトレイ勲章コマンドール章(注3)
平山善吉客員教授　サハメトレイ勲章大騎士章(注3)
石澤良昭教授　モニサラポン勲章大官位章(注4)

今回の受章にあたり、石澤教授は「フン・セン首相は叙勲に先だって演説を行ない、『カンボジアがかつて《S.O.S. アンコール・ワット》を全世界に向けて発信した時、最初に駆け付けてくれたのは上智大学であった。』と述べました（2018年12月4日シェムリアップでの演説）。そして、上智大学が実施してきたJ.ピタウ元学長の難民救済と併せて、民族の誇りを取り戻した遺跡修復の活動が2017年R.マグサイサイ賞としてアセアン世界の中で輝きました。今回の3名の叙勲は長年にわたる本学の活動に対する特別な謝意であります。」と語っています。

（注1）ICC会議とは「アンコール遺跡保存開発国際調整委員会」（The International Coordinating Committee for the Safeguarding and Development of the Historic Site of Angkor ）であり、今回25周年を記念して叙勲が行われました。
（注2）大臣は、2019年2月22日上智大学で開催した国際シンポジウム「よみがえれアンコール・ワット、修復はカンボジア人の手で - by the Cambodians, for the Cambodians 30年 -」において基調講演を行なうため、来学されました。
（注3）カンボジアの国王と国民のために、多大な奉仕活動がなされ、文化発展の分野で傑出した貢献を果たした外国人に贈呈される勲章です。
（注4）文学・美術、教育、司法、行政および科学の諸分野で傑出した貢献を果たした功労者に贈呈される勲章です。

実践宗教学研究科死生学専攻博士後期課程の開設

上智大学では、日本における実践宗教学や死生学の教育研究の中心的拠点を形成するとともに、上智大学の教育精神“Men and Women for Others, with Others”を現代社会にふさわしい形で展開していくために、2016年に「実践宗教学研究科死生学専攻」（修士課程）を開設しました。

この専攻は、必修科目を含めて半数以上の授業科目は夜間開講としたほか、長期履修制度を導入するなど、特に社会人が働きながら学べるよう配慮をしています。年齢、卒業学部、実務経験等が多種多様で幅広いバックグラウンドを持つ学生が集まって教育研究が進められていますが、これを更に発展させることを狙いとして、博士後期課程を2018年4月に設置しました。

修士課程で進められている「宗教の公共性」「死生観・生命倫理」「臨床スピリチュアルケア」の領域における人材養成をより強固にしつつ、この博士後期課程においては、養成する人材像を「宗教・価値・死生観の多様化の中、公共的対話による文化創造を担い、高い専門性と実践力ならびに俯瞰的視点を備え、未知の課題解決を先導する人材」と定義しています。第一期となる2018年度の入学者は5名（入学定員3名）でした。研究者養成のみに特化せず、社会に潜在する宗教的価値の多様化を尊重してその発展に寄与する社会的リーダーとして実務の現場でも活躍できる人材を育成するために、豊富な研究業績と臨床的な実践の経験を積んだ教員陣による指導体制を構築し、日本における実践宗教学や死生学の教育・研究力向上を先導するべく、その歩みを進めています。

国際基督教大学／関西学院大学／南山大学と包括協定締結

本学は、国際基督教大学（ICU）と5月24日、連携および協力に関する包括協定を締結しました。キリスト教精神を根幹に持つ本学とICUは、大学の理念、育成する人材像、そして教育研究の分野で親和性が高く、これまでも研究交流のほか、教職員間の交流や情報交換が行われてきましたが、このたびの協定締結により、両大学の一層の教育研究の向上やグローバル化推進の加速が期待されます。

また、6月20日には、関西学院大学と包括連携協定を締結しました。「キリスト教の精神を基に、国際性の高い教育研究を展開し、隣人・社会・世界に貢献する」という両大学に共通する理念の実現を目的としています。本協定の締結により、学生や教職員の相互交流や、授業科目の相互提供などを通じて、両大学の教育理念の実現を強力に推進するとともに、学生による国際ボランティアの共同実施や、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関わる教育の企画など、国内外での社会貢献も進めていきます。

さらに、12月14日、南山大学と連携および協力に関する包括協定を締結しました。これまで、カトリック系総合大学として、「日本カトリック大学連盟」の中心的役割を担い、日本におけるカトリック系大学の振興に貢献し深い協力関係にある両大学が、今後さらに、カトリック精神に基づく教育・研究の充実と社会貢献という共通理念の実現を推進していきます。また、上南戦に代表される学生交流に加え、教職員の共同研修や職員人事交流プログラムの実施等も検討していく予定です。

国内3大学・米国10大学の連携によるオンライン教育を活用したグローバル・シティズンシップ教育プログラムを展開（COIL）

上智大学、お茶の水女子大学、静岡県立大学が合同で申請した事業「人間の安全保障と多文化共生に係る課題発見型国際協働オンライン学習プログラムの開発」は、平成30年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業～ COIL型教育を活用した米国等の大学間交流形成支援～」に採択されました。

本プログラムでは、国際協働オンライン学習（Collaborative Online International Learning：COIL）を利用した講義科目と交流事業を軸に、日米2国間の大学間連携を促進します。日本側3大学、そして米国側は本学の協定校を中心とした10大学が参加し、⑴学生へのグローバル教育機会の提供、⑵連携大学と地域社会のリソースを活用した多層的な学生交流の推進、⑶国際協働オンライン学習プログラムの第三国への展開を通じた途上国での教育格差是正への貢献、の3つを目標に掲げ、2018年9月より活動を開始しました。

授業科目へのCOIL導入を促進することで、経済的理由や大学の履修カリキュラムの関係上、留学機会が得にくい学習者に、日本にいながら他国の学生と共に学ぶ場が創出され、文化的背景の異なる多様な学習者が協働学習し、課題に対する多面的な理解や複眼的な思考力を習得することを可能とします。

加えて本事業では、国内連携3大学による国内循環型の留学生受入プログラムを実施します。東京の2大学で講義を受けた留学生が静岡県立大学を通じて静岡県内の企業・団体でのインターンシップに参加することで、地方での国際交流と新たな形の産学連携を促進します。

ロサンゼルスオフィスの開設

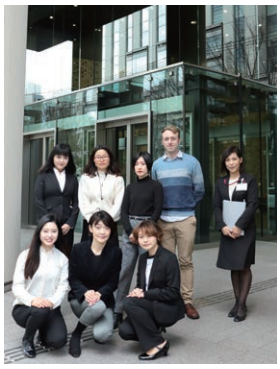
上智大学は、2018年4月、米国西海岸で国際教育事業において実績のあるLighthouse社と業務委託契約を締結し、ロサンゼルスオフィスを新たに開設しました。米国西海岸における拠点の設置は、スーパーグローバル大学創成支援事業の構想にも掲げられており、本学の9つ目の海外拠点となります。当該拠点の設置のねらいの一つは、特に本学の米国における学生募集活動の戦略において喫緊の課題とされていた「新二世」（日本生まれの両親をもつ米国育ちの日本人）への募集活動の強化です。本拠点が、本学の交換留学協定校も多く、派遣、受入ともに学生交流が盛んな米国西海岸での国際広報や、現地高校、日本語補習校、学習塾での企画業務を中心とした募集活動強化につながることが期待されています。

10月には、オフィス長に就任した渡邉剛弘国際教養学部准教授と入学センター担当職員がロサンゼルス及びハワイに出張し、ロサンゼルスオフィスのスタッフと連携して他大学との合同進学説明会（2ヶ所）に参加するとともに、米国西海岸及びハワイの現地高校（計10校）への訪問説明も行い、日本人学生、米国人学生双方に本学の英語プログラムを中心に応募勧奨を行いました。本拠点の設置により、日本の他大学の海外広報の姿勢や、各地域の言語教育等の学校の体制、日本文化への関心レベル、さらに米国在住の日本人や米国人高校生の進学情報など、今後の入試戦略にとって重要な情報も収集できており、今後も関係部署と連携した積極的な活動が望まれます。

イオン銀行と連携して留学生向け日本語科目でインターンシップ研修を実施

2018年度秋学期、言語教育研究センターの留学生向け日本語科目「インターンシップのためのビジネス日本語」では、株式会社イオン銀行より、ビジネス日本語習得のための実践的な講義と実地研修の機会をご提供いただきました。

当科目は、日本語上級レベルの留学生を対象とした科目で、留学生が日本で就職活動やインターンシップを円滑に行えるように、その概要・流れ及び企業が求める人材を知った上で、必要となる準備やビジネスマナー、企業文化を学びながら、ビジネス日本語を習得します。受講生は、中国、韓国、台湾、アメリカからの留学生６名で、いずれも日本や海外での日本支社への就職を希望しています。



事前講義では、学生は実践的に業界研究の方法を学び、また、日本特有のコミュニケーションスタイルや、名刺交換などのビジネスマナーも実技を通じて習得しました。

1月25日には、イオン銀行本社にてインターンシップ研修が行われました。各部署の様子や海外支社とテレビ会議をする部屋などを見学し、社員の方々が忙しくお仕事をする職場の雰囲気を肌で感じました。その後、ワークセッションでは、外国籍の若手社員の方々から所属部署の紹介があり、人事、企画、国際事業、分析など様々な部門で活躍されている様子を伺いました。学生は社員の方々と交流しながら、日本企業の文化・ルール、就職活動やイオン銀行での働き甲斐について、積極的に質問し、議論を交わしました。

総括の時間には、学生からは「外国人として就職活動に取り組む話が参考になった」、「先輩方の仕事への熱意を感じた」といった感想が述べられ、初めての実地での経験に充実した表情を見せていました。

インドネシア2018アジアパラ競技大会に学生と教職員で構成する調査団を派遣

リオデジャネイロ、平昌大会に続き、ジャカルタで開催されたアジアパラ競技大会の現地調査を行いました。ハード面の整備の遅れ、情報の少なさ、人々の関心の低さなどが報道されていましたが、大会会場は、敷地外にも声が聞こえてくるほど盛り上がり、熱気に溢れていたことに驚きました。8千人の大会ボランティアは8～9割が現役大学生であり、観戦客も若い層が目立ち、自ら主体的に関わろうとしている様子が窺えました。また、現地の大学や幼稚園、障害児童支援施設にも訪問し、インドネシアの障害者スポーツの発展の実態とニーズをヒアリングしました。東京2020オリンピック・パラリンピックへの多くのヒントを得たほか、今後の障害者スポーツを通じた途上国支援のあり方について考えるための調査となりました。

〈その他 オリンピック・パラリンピック関係の大学間連携や企業間連携について〉

- ソフィア オリンピック・パラリンピック 学生プロジェクトGo Beyond発足
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社との包括連携協定締結
- 同社連携講座「パラアスリートと考える障がい者スポーツと共生社会」の開講
- WOWOW×上智大学「PARA-SPORTS NIGHT」
- 東京2020オリンピック・パラリンピックボランティア募集説明会
- ユニバーサルマナー検定の実施
- 7大学連携「スポーツリベラルアーツ講座」の開催（神田外語大学、慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、東京大学、立教大学、早稲田大学 ※五十音順）
  詳細：https://www.tokyo2020sopp.com/

アクティブ・コモンズ運用開始

2018年4月に9号館地下カフェテリアを全面改修し、「アクティブ・コモンズ」としてリニューアルオープンしました。これまでの食空間としての機能を活かしつつ、無線LANなどの情報通信環境、可動式の机や椅子、貸し出し用のスクリーンやプロジェクターといった設備を整備し、個人やグループで学ぶ場、課外活動や学生企画の発表の場としても活用できるアメニティスペースとして運用しています。

オープン以降、浴衣デーに合わせた音楽企画「浴衣Jazz! 浴衣Orchestra!」やサークルや部活の勧誘を行う「秋のフレッシュマンウィーク」といったフロア全体を利用したイベントのほか、少人数でのワークショップ等にも活用されています。

今後より一層学生企画の活性化を図り、機能や支援体制を充実させていく予定です。

日本・スウェーデン国際学術コンソーシアム（大学間連携）「MIRAI Seminar 2018」開催

上智大学は、本学を含む国内8大学及びスウェーデンの7大学による国際学術コンソーシアムとして、MIRAIプロジェクトを推進しておりますが、日本・スウェーデン外交関係樹立150周年の節目の年にあたり、2018年10月9日～12日に「MIRAI Seminar 2018」を盛大に開催しました。

2018年は日本開催のため、本学、東京大学及び早稲田大学の3大学を会場とし、両国からトップレベルの研究者と政府関係者等が集い、多様な研究テーマに関する講演やパネルディスカッションが行われました。また、10月11日・12日は、テーマ別に分科会が行われ、本学での分科会は「Sustainability」をテーマとして両国合わせて45人が参加しました。分科会では、基調講演やポスターセッションの後、グループに分かれた研究発表やディスカッションが行われ、有意義な研究交流が展開されました。

このプロジェクトをきっかけとして、スウェーデンの大学と本学との共同研究がすでにいくつか始まっており、今後、国際的な学術交流のさらなる発展が期待されます。2019年度も、5月の「Materials Science」のワークショップを始め、多くの研究交流が計画されています。次回の全体セミナーは2019年11月にスウェーデンを会場として開催される予定となっており、引き続き両国間の学術交流を深めてまいります。

熊本地震写真展「熊本の高校生が撮ったリアル」を開催／平成30年夏・自然災害報道写真展・倉敷ボランティア報告展示

4月17日～20日、前年復興支援活動助成金に採択された学生企画「熊本地震写真展『熊本の高校生が撮ったリアル』」を開催しました。

熊本県立第二高校写真部の生徒たちが撮影した写真を、エピソードや思いが書かれた日・英のキャプション（上智大学生が直接聞き取り作成）とともに展示しました。

期間中、本学関係者だけでなく、学外からの来場も多く「テレビで見るより被害が大きく驚いた」「プロのカメラマンでなく、高校生が撮った写真だからこそ訴えかけるものがある」などのメッセージもお寄せいただきました。なお、初日はくまモン、ソフィアンくんも写真展を訪問し大盛況となりました。

また、新聞やラジオ放送にも取り上げられ、10月にはHPを見た静岡県の私立浜松啓陽高校から文化祭での展示希望があり、高校を訪問し、パネルとそのエピソードを届けました。「熊本地震を忘れない」、という思いが、熊本第二高校→上智大学→浜松啓陽高校と繋がった企画となりました。

12月には、平成30年7月豪雨災害の復興支援ボランティア活動として岡山県倉敷市での活動に参加した学生を中心に、災害の情報や防災のこころ、そして被災された方々とのつながりの気持ちを広めたい、という思いから、2号館エントランスでの自然災害報道写真（朝日新聞社撮影）・書道作品（岡山県立倉敷商業高等学校書道部）の展示と、8号館ピロティでの岡山県産の味噌と野菜を使用したチャリティ味噌汁販売を行ないました。

教職員数等

教職員数

（2019年3月1日現在）

学校区分	教職員区分	本務	兼務	総計
上智大学短期大学部	教員	17	43	60
	職員	12	2	14
総　計		29	45	74

※本務教員：専任教員・特別契約教授・特任教員・常勤嘱託教員・実務家教員・出向教員
　兼務教員：非常勤嘱託教員
　本務職員：専任職員・契約職員・嘱託（一般）職員・嘱託（特別）職員
　兼務職員：嘱託（一般）職員（医師等）
※管理部門所属職員は上智大学に算入

年齢別教員数

（2019年3月1日現在）

学校区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
上智大学短期大学部	0	0	3	9	4	1	17

※非常勤講師を除く

職階別教員数

（2019年3月1日現在）

学校区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教員	総計
上智大学短期大学部	7	8	1	1	0	0	17

※非常勤講師を除く

教員一人当たり学生数

（2018年5月1日現在）

学校区分	学生数	本務教員数	
		教員数	一人当たり学生数
上智大学短期大学部	543	17	31.94

学生数

（2018年5月1日現在）

学校区分	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率
上智大学短期大学部	250	500	543	108.60%

2018年度実施入試（2019年度入学）

入試種別		募集人員	志願者	受験者	合格者	補欠	補欠繰上合格者	入学者
第1期AO入試		20	43	43	35			33
第2期AO入試		10	9	9	5			5
指定校制推薦入試		65	94	94	94			94
公募制A推薦入試		10	2	2	2			2
公募制B推薦入試		10	7	6	5			5
TEAP・英検等利用型A特別入試		5	12	12	8			8
TEAP・英検等利用型B特別入試		5	7	7	6			5
国際バカロレア(IB)科目履修A特別入試		2	0					
卒業生・在学生子女姉妹特別入試		5	1	1	1			1
帰国生特別入試		3	0					
社会人特別入試		3	0					
国際バカロレア(IB)科目履修B特別入試		2	0					
一般入試(A日程)		55	112	110	64	12	0	32
一般入試（B日程）		25	143	132	85	14	0	68
一般入試（C日程）		15	72	68	17	0	0	9
第3期AO	a	5	5	5	2			2
	b		0					
	c		0					
	d		1	0	0			
	e		3	3	1			1
	f		12	12	0			
適性検査型特別	ア	3	1	1	1			1
	イ		1	1	1			1
	ウ		2	2	0			
TEAP・英検等利用型C特別入試	Ⅰ	5	14	14	8			8
	Ⅱ		2	2	0			0
	Ⅲ		1	1	1			1
	Ⅳ		1	1	0			
	Ⅴ		2	2	0			
	Ⅵ		5	5	2			2
	Ⅶ		2	2	0			
	Ⅷ		22	20	2			2
	Ⅸ		14	13	2			2
国際バカロレア（IB）科目履修C特別入試		2	0					
合　　計		250	590	568	342	26	0	282

入学者数推移

学　科	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度
英語科（女子のみ）	282	268	277	262	241	226

卒業・修了者数等

学　科	卒業者数	退学者数	中退率
英語科	230	19	3.49%

※卒業者数は、2018年9月卒業者、2019年3月卒業者を足し上げた数字である
※退学者数は、2018年度に退学した1年次生、2年次生を足し上げた数字である
※中退率は、2018年度の退学者数を2018年度5月1日時点の在籍者数で割ったものである

進路

2018年度　卒業者の進路　（人）

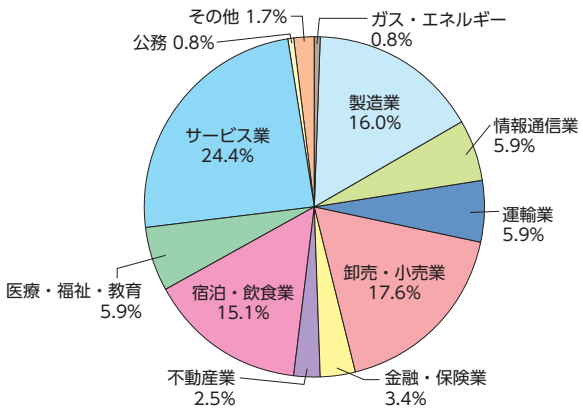
学　科	就職	進学	その他	未届者	合計
英語科	119	85	26		230

※「その他」は、編入学試験勉強、就職活動中、アルバイト等を含む。
※2018年9月卒業者を含む
※進学 は、大学編入学、1年次から大学進学、留学、専門学校進学

就職

業種別内定状況

業種	集計	%
ガス・エネルギー	1	0.8%
製造業	19	16.0%
情報通信業	7	5.9%
運輸業	7	5.9%
卸売・小売業	21	17.6%
金融・保険業	4	3.4%
不動産業	3	2.5%
宿泊・飲食業	18	15.1%
医療・福祉・教育	7	5.9%
サービス業	29	24.4%
公務	1	0.8%
その他	2	1.7%
総　計	119	100.0%



内定企業一覧

就職先	人数
パナソニック㈱エコソリューションズ社	3
日野自動車㈱	2
セイコーエプソン㈱	2
ミネベアミツミ㈱	2
日本電算㈱	2
㈱羽田エアポートエンタープライズ	2
㈱さなる	2
㈱小田急リゾーツ	2
㈱ユニマットプレシャス	2
富士通ISサービス㈱	2
㈱ヴィエリス	2
いすゞ自動車㈱	1
キヤノン㈱	1
日本精工㈱	1
矢崎総業㈱	1
日新製鋼㈱	1
㈱長倉製作所	1
武蔵エンジニアリング㈱	1
横浜高周波工業㈱	1
㈱ファンケル	1
㈱ディーエイチシー	1
㈱ジェイテック	1
㈱アズライフ	1
バークレイグローバルコンサルティング＆インターネット㈱	1
有）峡西シーエーテーブイ	1
㈱シオンスタッフサービス	1
㈱ウイング	1
日本通運㈱横浜国際輸送支店	1
日本通運㈱横浜支店	1
東日本旅客鉄道㈱	1
新京成電鉄㈱	1
㈱入船ダイナミック・シッピング	1
アーク引越センター㈱	1
日本交通㈱	1
国分グループ本社㈱	1

就職先	人数
静岡トヨタ自動車㈱	1
㈱ホンダクリオ共立	1
㈱ティーユーシー	1
日本ベストミート㈱	1
㈱日本アクセス	1
㈱川田薬局	1
㈱スパイスハウス	1
神奈川ダイハツ販売㈱	1
スカイグループ	1
㈱NAAリテイリング	1
㈱ユナイテッドアローズ	1
クラッシュアンドカンパニーグループ	1
㈱アールケイエンタープライズ	1
㈱インターベル	1
田中興産㈱	1
㈱ロピア	1
㈱ダブリュ・アイ・システム	1
日本ロレアル㈱	1
医療法人徳州会湘南藤沢徳州会病院	1
医療法人よつ葉会	1
医療法人社団光雙会 市川歯科医院	1
積和不動産中部㈱	1
㈱アルテカ	1
㈱デュアルタップ	1
㈱鳥取銀行	1
横浜信用金庫	1
秋田信用金庫	1
東濃信用金庫	1
㈱HARIOイングリッシュスクール	1
英智学館㈱	1
マンダリンオリエンタル東京㈱	1
㈱プリンスホテル	1
㈱グランベルホテル	1
センコークリエイティブマネジメント(株)	1
㈱コープビル	1
㈱マースプランニング	1

就職先	人数
㈱京急イーエックスイン	1
㈱東横イン	1
花巻温泉㈱	1
㈱冨士レークホテル	1
㈱トランクホテル	1
㈱DDホールディングス	1
WDI㈱	1
世界一多賀うどん	1
かながわ西湘農業協同組合	1
湘南農業協同組合（JA湘南）	1
司法書士法人トラスト	1
ANAスカイビルサービス㈱	1
秋北航空サービス㈱	1
羽田空港国際旅客サービス㈱	1
㈱FMG	1
㈱エイチ・アイ・エス	1
㈱ジェイアール東海パッセンジャーズ	1
㈱ ジェイ・エス・エス	1
㈱ラストリゾート	1
ワイケーエンターティメント	1
㈱インドネシア総合研究所	1
㈱マテリアルパートナーズ	1
Suprieve㈱	1
㈱ベストサポートシステムズ	1
㈱不二ビューティ	1
㈱GISELE	1
㈱LAVA International	1
㈱ミュゼプラチナム	1
㈱ザ・フォウルビ	1
㈱ライフクリエイト	1
㈱セドナエンタープライズ	1
㈱カラダミライラボ	1
㈱ビューティースリー	1
防衛省海上自衛隊舞鶴地方総監部	1
自営業　他	2
合　計	119

国際交流

海外短期語学講座　参加者数

派遣先大学	国名	開催時期	参加人数
グロスターシャー大学	イギリス	2018年8月13日（月）～9月5日（水）	23
ボンド大学	オーストラリア	2019年2月10日（日）～3月9日（土）	8

ミクロネシア留学生受入状況

受入期間	受入人数	滞在先
2018年11月12日（月）、11月15日（木）	2	上智大学祖師谷国際交流会館

海外スタディーツアー　参加者数

派遣先大学	国名	開催時期	参加人数
ミクロネシア短期大学	ミクロネシア連邦	2018年8月25日（土）～9月5日（水）	3
ペルー・カトリック大学	ペルー共和国	2019年2月25日（月）～3月12日（火）	3
韓国カトリック大学	大韓民国	2018年8月5日（日）～8月19日（日）	1

海外協定締結状況

相手先	締結日	期間
ボンド大学	2018年6月25日	2018年6月25日～2023年6月24日
韓国カトリック大学	2018年4月27日	2018年4月27日～2021年4月26日

学生納付金

（単位：円）

	新入生	在学生
合　計	1,212,425	935,075

奨学金

名　称	内　容	給付額	対象
創立40周年記念特待生奨学金	一般入試A日程で成績上位3名	初年度の授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	新入生
新入生奨学金	本学を第一志望とする新入生。経済的理由により入学が困難、かつ本学に入学する以前の高校の成績が優秀な者。入試出願時、要申請。	初年度の授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	新入生
修学奨励奨学金	学業成績が良好である又は学習意欲が高いにもかかわらず、経済的理由によって学業の継続が困難と認められる学生	授業料全額相当額、授業料半額相当額、授業料の3分の1相当額のいずれか。	1.2年
同窓会奨学金	新入生奨学金と修学奨励奨学金の出願者の中から、経済的な状況を審査し決定する。新入生奨学金、修学奨励奨学金出願者で採用とならなかった学生の中から各学年1名	各30万円	1.2年
	新入生奨学金と修学奨励奨学金の出願者の中から、経済的な状況を審査し決定する。新入生奨学金、修学奨励奨学金出願者で採用とならなかった学生の中から6名	各5万円	1.2年
利子補給奨学金	金融機関の提携ローンを契約し、学費納入者を対象とする。	提携ローンの残額の利息に基づいて決定	1.2年
大規模災害等による特別措置	本人又は父母（家計支持者）が居住する家屋が、災害救助法適用地域（学長が同規模災害と認めた地域も含む）に指定され、罹災証明書が発行された者で、災害発生後3年以内に本学に入学又は在学している者を対象とする。	・被害状況により給付額が決定され、全壊の場合は授業料全額相当額、大規模半壊又は半壊の場合は授業料半額相当額を給付。 ・授業料減免が認められた者に対して、生活支援金（自宅外通学者　月額5万円、自宅通学者　月額3万円）を給付。	1.2年

事業の概要

過去18年間で最大の入試志願者数

短期大学部は、2017年度入試より志願者及び入学者獲得において比較的良好な状態を維持していましたが、2019年度入試は、さらに志願者数が伸び、過去18年間で最大の590名となりました。（入学定員250名　入学者数は282名）

この躍進の理由として、1）学生募集広報におけるトータルマネジメントによる資料請求数や来校者数増加傾向の維持、2）出願の動機づけとなるオープンキャンパス、授業見学会などのイベントの充実、3）出前授業・高校内進学相談会の強化、4）TEAP・英検等を活用した特別入試の浸透等の自助努力、が考えられますが、これらに加え、外的要因として、5）入学定員厳格化による併願四年制大学の合格者が絞られたこと、6）2021年度入試制度変更を目前に、2020年度入試が激化すると考えた受験者層が浪人を避け2019年度入試で確実に決めようとしたこと、7）本学との併願が多かった教養系短大が相次ぎ募集停止となったこと等が考えられます。

短期大学部のAO・推薦・特別入試における入学者選抜は、学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）に基づいて行われています。また一般入試A・B・C日程では記述式問題を出題することにより、①知識・技能に加えて、②思考力・判断力・表現力を測定しています。C日程においては、2019年度入試よりグループディスカッションを導入し、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度も測定しています。2019年度一般入試の競争倍率は、A日程1.72倍、B日程1.55倍、C日程4.0倍となり、難化しています。

教職員数等

教職員数

2019年3月1日現在

学校区分	教職員区分	本務	兼務	総計
上智社会福祉専門学校	教員	12	61	73
	職員	4	0	4
総　計		16	61	77

※本務教員：専任教員・特別契約教授・特任教員・常勤嘱託教員・実務家教員・出向教員
　兼務教員：非常勤嘱託教員
　本務職員：専任職員・契約職員・嘱託（一般）職員・嘱託（特別）職員
　兼務職員：嘱託（一般）職員（医師等）
※管理部門所属職員は上智大学に算入

年齢別教員数

2019年3月1日現在

学校区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総計
上智社会福祉専門学校	1	1	3	5	2	0	12

※非常勤講師を除く

職階別教員数

2019年3月1日現在

学校区分	教授	准教授	講師	助教	助手	教員	総計
上智社会福祉専門学校	0	0	0	0	0	12	12

※非常勤講師を除く

教員一人当たり学生数

（2018年5月1日現在）

学校区分	学生数	本務教員数	
		教員数	一人当たり学生数
上智社会福祉専門学校	200	12	16.67

学生数

（2018年5月1日現在）

課　程	学　科	入学定員	収容定員	学生数	収容定員充足率
保育専門課程	保育士科	0	80	28	35.0%
社会福祉専門課程	社会福祉士・児童指導員科	40	80	44	55.0%
	介護福祉士科	40	80	48	60.0%
精神保健福祉士通信課程（短期）		80	80	80	100.0%
合　計		160	320	200	62.5%

※留年者含む

2018年度実施入試（2019年度入学）

課　程	学　科	入学定員	志願者数	合格者数	2019年度入学者数	2018年度入学者数	2017年度入学者数	2016年度入学者数
保育専門課程	保育士科	―	―	―	―	―	14	12
社会福祉専門課程	社会福祉士・児童指導員科	40	25	23	22	16	28	34
	介護福祉士科	40	31	28	25	32	16	22
精神保健福祉士通信課程（短期）		80	87	72	69	80	79	79
合　計		160	143	123	116	128	137	147

卒業・修了者数等

課　程	学　科	卒業者数
保育専門課程	保育士科	9
社会福祉専門課程	社会福祉士･児童指導員科	25
	介護福祉士科	14
精神保健福祉士通信課程（短期）		80
合　計		128

国家試験・資格等

■国家試験合格状況

	合格者数	受験申込数	合格率
社会福祉士	21	25	84.0%
介護福祉士	13	14	92.9%
精神保健福祉士	73	76	96.1%

進路

2018年度　卒業者の進路　（人）

課　程	学　科	就職	進学	その他	未届者	合計
保育専門課程	保育士科	5	0	1	2	8
社会福祉専門課程	社会福祉士・児童指導員科	16	0	9	0	25
	介護福祉士科	7	1	5	1	14

※「その他」は、編入学試験勉強、資格試験勉強、就職活動中（公務員試験勉強中）、アルバイト等を含む。
※精神保健福祉士通信課程は、福祉職の現任者を対象とするため調査対象としない。

学生納付金

（単位：円）

	保育専門課程		社会福祉専門課程				精神保健福祉士通信課程（短期）
	保　育　士　科		社会福祉士・児童指導員科		介護福祉士科		
	2018年度入学者	2017年度入学者	2018年度入学者	2017年度以前入学者	2018年度入学者	2017年度以前入学者	2018年度入学者
合　計	－	510,500	663,990	498,500	873,110	707,500	349,900

事業の概要

■ アウトリーチ教育プログラム

本校は希望する学生に対して、イノベーション教育事業として教科書の学びや規定の実習教育を飛び出し、外へ（アウト）手を伸ばす（リーチ）教育活動を展開しています。

たとえば、実際のコミュニティカフェ活動やイベントに参加してみる、OB訪問やインターンシップの推進、現役援助職向けの研修や卒業生の学習会に参加してみる、地域の子ども家庭支援事業（子育て支援事業）を学校が受託して実際に学生が計画から携わってみる、などの実学を重視したアウトリーチ教育を展開しています。

千代田区委託の子育て支援事業では、生徒達が実際に子育て支援を実施しました。子どもと接する機会を得ることで、生徒たちは子どもへの理解を深めることだけでなく、保護者に対する支援も実地的に学ぶことができました。

養成課程の内容を超えたオルタナティブな体験的教育が、アウトリーチ教育プログラムです。

■ 第１回レク・イントラ・フェスで本校の学生が優勝

東京都レクリエーション協会が主催する「第１回レク・イントラ・フェス」が2月23日に上智大学四谷キャンパス６号館で開催されました。

当日は多くの方が参加され、本校からも在校生を代表して介護福祉士科２年生の中村まきほさんが「模擬オリンピック」のプログラムを実技発表し、優勝いたしました。

栄光学園中学高等学校

主な施設等の状況

（2019年3月現在）

所在地	施設等	面積等		帳簿価額	摘要
栄光学園中学高等学校 神奈川県鎌倉市玉縄	校地		113,492.00㎡	745,998千円	中学校・高等学校が利用
	校舎	1棟	8,643.52㎡	3,815,281千円	
	第1体育館	1棟	2,112.61㎡	9,683千円	
	講堂	1棟	1,940.91㎡	215,435千円	
	アロイジオ館	1棟	370.63㎡	18,290千円	
	聖堂棟（図書室･聖堂･小講堂）	1棟	2,838.98㎡	427,179千円	
	第2体育館	1棟	2,370.92㎡	244,114千円	
	事務所・倉庫棟	1棟	1,355.18㎡	42,034千円	
栄光ヒュッテ 神奈川県愛甲郡煤ヶ谷字丹沢山	用地		2,600.23㎡	借地	
	山小屋	1棟	133.03㎡	4円	

※複合校舎は、聖堂棟に名称を変更した

教職員数

（2019年3月31日現在）

学校区分	教員	職員	総計
栄光学園中学高等学校	79	13	92

生徒数

（2018年5月1日現在）

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計
栄光学園中学校	180	540	189	181	184	554
栄光学園高等学校	180	540	184	182	188	554

入試状況（2019年入学者）

学校区分	受験者	合格者	入学者
栄光学園中学校	845	263	182

卒業者数（2019年3月）

学校区分	卒業者数
栄光学園高等学校	187

2019年3月卒業生　進路状況

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
栄光学園高等学校	82	35	4	0	0	70

2018年度事業報告（総括）

2017年4月に新築校舎に移って、今年度は2年目を迎えました。校舎は新しくなっても、学校が長い間大切にしてきた学校行事は、新しい要素を加えながらも続けています。

5月の文化祭（栄光祭）には、新校舎効果もあり過去最高の来場者をお迎えし、とても盛り上がりました。また9月末の体育祭は悪天候のため予備日を含めて中止となり、予定外でしたが、週日の通常授業日に実施しました。急遽開催したため一般公開はしなかったものの、たくさんの保護者の方々にご来校いただき、例年と比べても遜色ない体育祭になりました。本校の学校行事はすべて生徒主導で企画運営されており、授業の中では体験できない学びを重ねています。

また課外活動においても、日常の活動の中で、生徒たちはこの校舎の利点を最大限に活かしているようです。2018年度は、神奈川県代表として出場した本校のチームが、「科学の甲子園全国大会」で準優勝し、「数学甲子園」本選では念願の初優勝を果たしました。いくつかの科学オリンピックでも世界大会での入賞をはたしました。軟式野球部も春と夏の県大会でそれぞれ優勝し、勝ち進んだ関東大会でも春の大会では優勝、夏には準優勝するなど、活躍しました。

トピックス

①海外のイエズス会教育機関との連携

2018年の5月には、フィリピンのイエズス会中等教育機関であるSacred Heart School of Ateneo de Cebuの高校生10名が２週間本校を訪問し、生徒家庭にホームステイして学校での授業や文化祭に参加しました。そして7月末からは栄光学園の生徒10名が同じく2週間、同校を訪問して授業参加・エクスポージャープログラムなどを体験しました。

2018年の8月には、米マサチューセッツ州にあるイエズス会の大学・ボストンカレッジに30名の生徒が訪問し、全米の高校生対象に行われている同大学主催のイエズス会教育の研修会「Ever to Excel」に参加しました。なお今年度から、このフィリピン研修とボストン研修に、事前学習も含めて清泉女学院高校も一緒に参加することになりました。

②上智大学との連携

前述のボストンカレッジでの研修参加にむけて、その準備として、生徒たちが、自分自身の過去や未来を省察したり、日常の出来事の意味を考察したりすることを英語で行う事前研修を、7月末に2日間、上智大学の留学生にも協力していただき、上智大学で教鞭をとっておられるイエズス会の神父様や神学生に、事前学習をしていただきました。場所は上智大学6号館。

年度始めの教職員研修会には、上智大学総合人間科学部の澤田稔教授に講師をお願いし、新しい学習指導要領とそれへの対応について知見を広げる機会を設けることができました。また12月のクリスマスメッセージとして、上智大学国際教養学部非常勤講師の藤倉健雄先生をお招きしてパントマイムをご披露いただくとともに、ご自身の経験を元に本校生徒へのすばらしいメッセージをいただきました。

六甲学院中学校・高等学校

主な施設等の状況

（2019年3月現在）

所在地	施設等	面積等		帳簿価額	摘要
六甲学院中学校・高等学校 兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町	校地		73,353.00㎡	700,941千円	中学校・高等学校が利用
	校舎（本館）	1棟	11,393.92㎡	1,946,627千円	
	校舎（別館）	2棟	1,779.65㎡	13,253千円	
	体育館・講堂棟	1棟	5,943.10㎡	454,596千円	
	プール・剣道場	1棟	2,094.79㎡	25,878千円	
	第3グラウンド体育棟	1棟	84.37㎡	40,992千円	
	部室・弓道場	1棟	442.83㎡	11,843 千円	
兵庫県神戸市灘区篠原字仲山	用地		934.00㎡	8千円	
兵庫県神戸市灘区篠原字谷山	用地		9,609.00㎡	2,153千円	
兵庫県神戸市灘区篠原北町	校地		654.00㎡	借地	
	研修所	1棟	482.62㎡	9,223千円	
富山県中新川郡立山町（弥陀ヶ原）	用地		485.00㎡	借地	
	合宿所	1棟	244.62㎡	26,983千円	

教職員数

（2019年3月31日現在）

学校区分	教員	職員	総計
六甲学院中学校・高等学校	67	13	80

生徒数

（2018年5月1日現在）

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計
六甲学院中学校	184	552	187	187	182	556
六甲学院高等学校	184	552	166	169	166	501

入試状況（2019年入学者）

学校区分	受験者	合格者	入学者
六甲学院中学校	525	281	188

卒業者数（2019年3月）

学校区分	卒業者数
六甲学院高等学校	166

2019年3月卒業生　進路状況

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
六甲学院高等学校	77	21	2	0	防衛大学校1	67

2018年度事業報告（総括）

今年度から中学生を中心にクラスを3分割した少人数制の英語の授業を試行。通常のクラス50名弱を3分割し、15名程度の各グループにネイティブスピーカーが会話を主体とした授業を行いました。年間にして約30時間の授業ではありますが、対象となった生徒の6割以上が会話量に満足、また授業そのものも非常に楽しいという評価をしました。　教科担当者においては次年度以降進度その他工夫を凝らす検討も進めております。

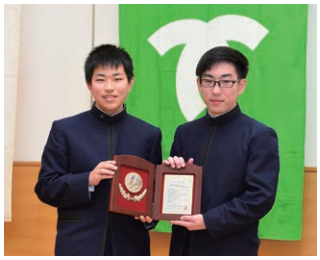
IT化においては、今年度電子黒板機能付きプロジェクターを導入。高校2年生の全クラスに設置。担当教員は従来のプロジェクターでは表現できないインタラクティブな授業の工夫に熱が入り、進級後の学年の教室への設置も切望するという状況となりました。

施設面においては、夏の豪雨により弓道場に土砂が流れ込み被災、また敷地内急傾斜地においても土砂崩れが発生。被災の規模が甚大であったため、約半年がかりで国の災害復旧補助を申請。ようやく来年度早々には復旧工事着工の見込みとなりました。また、イエズス会より譲り受けた旧修道院を一部改修し、特別支援教室を設置、また机、いす等を入替え、雰囲気も一新した小部屋を面談室や部活動の部屋としたほか、トイレ等水回りも一部改修しました。建物自体に手を加えたわけではありませんが、内装はいにしえのなかにも清潔感漂う空間へと生まれ変わりました。

トピックス

①六甲学院社会奉仕委員会 第38回こうべユース賞受賞

2019年2月16日（土）に六甲学院社会奉仕委員会は第38回こうべユース賞を受賞しました。本校では1977年より校内で毎月インド募金を行い、ダミアン社会福祉センターに毎年およそ2万米ドル送金しています。毎年10月に三宮街頭で行っている赤い羽根共同募金は70年以上もの間継続しています。2017年4月より、毎週金曜日放課後に神戸市灘区の岩屋青年会館で行われている岩屋っ子（こどもの居場所作り事業）にボランティアとして参加し、小学校1 ～ 3年生の子どもたちに勉強を教えています。このような活動が評価され、第38回こうべユース賞受賞に至りました。社会奉仕活動の経験を通して、誰かがすべきことを自ら進んで行うことが出来る人間を育てることを大切にしたいと考えています。また、支援を必要としているところを実際に支援できるよう、今後は特に岩屋っ子のような地元とのつながりを深めていきたいと考えています。



②メルシュさんの机　東ティモールに寄与

長年本校で木工として従事された故ブラザー・メルシュさん手作りの机が海の向こうで活躍しております。

2019年2月東ティモール駐在の神父ブログによりますと、現地教育プロジェクトの一環でウルメラ村を訪れた際、公立小学校でメルシュさんの机がいまだ現役で活躍中と取り上げていただいております。

③六甲伯友会75周年事業「六甲大祭り」を学校で開催

2018年8月11日（土）に同窓会組織である六甲伯友会設立75周年事業として「六甲大祭り」を本校で開催しました。この「六甲大祭り」は、OBとその家族、現役生徒およびその保護者、本校の受験を考えている小学生親子にも参加を呼び掛けて行われたものです。当日は伯友会設立75周年記念式典に先立って、校舎の各教室では講演会やコンサート、パネルディスカッション、模擬授業等の数多くのイベントが同時並行で一般公開されました。中には「六甲生弁論大会」や「小学生向けの校内ツアー」など在校生が中心となって行われたものや在校生がお手伝いをしたものもあり、現役生とOBとの交流も深まりました。　なお、この記念事業の様子について、神戸のタウン誌「月刊 神戸っ子 2018年10月号」に特集記事が組まれました。

広島学院中学校・高等学校

主な施設等の状況

（2019年3月現在）

所在地	施設等	面積等		帳簿価額	摘要
広島学院中学校・高等学校 広島県広島市西区古江上	校地		46,810.13㎡	362,304千円	中学校・高等学校が利用
	本館校舎	1棟	6,075.37㎡	397,365千円	
	西館校舎	1棟	3,317.29㎡	259,482千円	
	理科棟	1棟	910.67㎡	149,565千円	
	講堂（体育館）	1棟	1,570.65㎡	2,201千円	
	ザビエル体育館	1棟	2,286.93㎡	217,847千円	
	ペドロ・アルペ講堂	1棟	3,024.46㎡	954,381千円	
	アシジの聖フランシスコ聖堂	1棟	232.51㎡	123,013千円	
	工作室	1棟	94.90㎡	1,570千円	
	クラブハウス	2棟	279.83㎡	42,743千円	
	倉庫（下グランド）	3棟	177.38㎡	4,726千円	
広島県廿日市市飯山字天徳	用地		12,159.00㎡	4,676千円	
	キャンプハウス	11棟	477.42㎡	12,041千円	

教職員数

（2019年3月31日現在）

学校区分	教員	職員	総計
広島学院中学校・高等学校	64	13	77

生徒数

（2018年5月1日現在）

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計
広島学院中学校	184	552	194	189	178	561
広島学院高等学校	184	552	182	183	186	551

入試状況（2019年入学者）

学校区分	受験者	合格者	入学者
広島学院中学校	623	277	191

卒業者数（2019年3月）

学校区分	卒業者数
広島学院高等学校	186

2019年3月卒業生　進路状況

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
広島学院高等学校	73	19	2	0	0	94

2018年度事業報告（総括）

教育部門では、本校のイエズス会教育推進の大きな役割を担うILP（Ignatian Leadership Program）の充実や、新しく始まる大学入学共通テストへの対応準備、リーダー養成海外プログラムへの生徒派遣の検討などを行いました。財務・管財部門では、教務システム整備の検討、校舎の老朽化箇所修繕、校地内外の防災工事などに取組みました。

ILPは聖イグナチオ・デ・ロヨラの「仕えるリーダー」としてのあり方にならい、Men for others , with othersの倫理観を体験的な学習を通じて学ぶことを目的とした授業です。「キリスト教の基本理解」「社会の様々な人々との関わり」「世界と平和」「自分・生き方探し」「人間としての生き方（思想・哲学・社会倫理）」など、それぞれの学年に応じてテーマが決められており、各学年のILP担当の教員が中心となり授業計画を立て、基本的には各クラス担任が、授業を受け持ちます。テーマによっては、外部から講師を招いたり、自ら校外に足を運んだりすることもあります。週に1回、ILP担当教員が集まって、更なるILPの充実について活発に議論を進めており、ILPは本校のイエズス会教育推進の大きな役割を担っています。

トピックス

①「大学入学共通テスト」を見据えた英語科「オンライン英会話」実施学年の拡大

2017年度より、インターネットのビデオチャットシステムを活用した「オンライン英会話」を授業に取り入れています。初年度は、対象学年を中学校3年のみとして開始しましたが、本年度は、対象生徒が進級した高校1年に加え、新中学3年でも同授業に取組んでいます。生徒は、ビデオチャットツールを活用して海外在住のネイティブとリアルタイムの会話を行います。全ての生徒が同時にマンツーマンで会話を行うことができるため、授業時間中の一人あたりの発話量を倍増できており、結果として生徒の「話す力」「聞く力」は着実に伸びてきています。高校1学年の生徒が2020年度に挑む大学入試共通テストでは、英語の4技能を試す試験が導入される予定です。

②社会奉仕活動の充実

本年度も社会奉仕活動への参加を推進しました。「他者のために生きる人間の育成」という本校の教育理念のもと、生徒には社会奉仕活動への自発的な参加を促しており、また教員にとっても奉仕活動の引率はイエズス会教育への意識を高めるための研修の場となっています。2018年度は、東北ボランティア（原町ベース）には3隊15名、釜ヶ崎の越冬炊き出し活動には2隊8名が参加しました。他にも、近くの養護施設の子どもたちとの定期的な交流や、幟町カトリック教会と協力しての2ヶ月に1度の路上生活者支援炊き出し活動にも、生徒有志が参加しています。

③校内の整備及び校地内危険箇所防災対策の着手

校舎の経年劣化対策として本年度は、ザビエル体育館の屋根防水補修工事を行いました。法人合併にともない校地内危険箇所の調査を実施した結果、転石散在や地表面風化等の要対策箇所が校地裏山を中心に判明したことから、詳細調査の実施と危険箇所対策工事設計を依頼しました。工事設計書に基づく施工業者の入札（見積もり合わせ）を行い、来年度から防災対策工事に着工し2019年度内に完了する予定です。

社会奉仕活動の様子

上智福岡中学高等学校

主な施設等の状況

（2019年3月現在）

所在地	施設等	面積等		帳簿価額	摘要
上智福岡中学高等学校 福岡県福岡市中央区輝国	校地		53,761.68㎡	5,006,712千円	中学校・高等学校が利用
	中学棟	1棟	2,182.24㎡	173,020千円	
	体育館	1棟	2,711.00㎡	120,079千円	
	用務員居宅	1棟	80.32㎡	1円	
	高校棟	1棟	2,329.00㎡	193,029千円	
	特別教室棟	1棟	3,290.32㎡	144,373千円	
	プレハブ倉庫	1棟	210.50㎡	2円	
	クラブハウス	1棟	277.16㎡	27,598千円	
	中央棟	1棟	2,492.51㎡	510,814千円	
	昇降口（中学）	1棟	79.75㎡	5,903千円	
	昇降口（高校）	1棟	73.15㎡	5,405千円	
	守衛室	1棟	4.32㎡	5,773千円	
	聖堂棟	1棟	359.35㎡	32,022千円	

教職員数

（2019年3月31日現在）

学校区分	教員	職員	総計
上智福岡中学高等学校	64	9	73

生徒数

（2018年5月1日現在）

学校区分	入学定員	収容定員	1年在籍者数	2年在籍者数	3年在籍者数	総計
上智福岡中学校	160	480	175（89）	139（71）	146（55）	460（215）
上智福岡高等学校	160	480	155（58）	146（63）	139（53）	440（174）

※（　）内は女子生徒数

入試状況（2019年入学者）

学校区分	受験者	合格者	入学者
上智福岡中学校	819（346）	561（243）	176（98）

※（　）内は女子生徒数

卒業者数（2019年3月）

学校区分	卒業者数
上智福岡高等学校	139

2019年3月卒業生　進路状況

学校区分	4年制大学				大学校	その他
	国公立大学	私立大学	うち上智大学	海外大学		
上智福岡高等学校	20	77	22	2	0	40

2018年度事業報告（総括）

本年度の主な事業として下記2点を実施しました。

まず、「教育の充実」に向け、『卒業時の生徒の姿』への到達度を測る評価ルーブリック（13項目5段階）にて2回実施するリフレクションの結果を用いて、授業及び学校行事の改善を目的とした検証システムを計画に沿って構築しました。このシステムに基づき夏・春期教職員研修では、学年、教科単位での検証するチェックシートを用いて本校の教育効果を検証し、次回のリフレクションに向けた目標を設定いたしました。

直近の検証結果は以下のとおりで、生徒の資質･能力が着実に伸長していることが判りました。

- 全項目平均値は高3、中3、高2の順で高く、0.34伸びた中3が目立った
- 全項目で最も高い数値を示した昨年度高３と異なり、今年度高3は7項目にとどまった
- 中１高３比較は0.16 ～ 0.61の幅で向上
- 中１～高２学年間差異は0.05 ～ 0.24、高2高3は-0.03で学年ごとに向上

続いて、計画通り中学及落規定を廃止し、原則全員進級と改正しました。

トピック

①上智大学との教育提携プログラム

教育提携プログラムの主な内容は1. 高大提携講座　2. 教育刷新　3. 教育提携校特別推薦入学です。1については下記の出張授業をしていただきました。

学部学科	講師	日時	対象	内容
国際関係法学科	江藤祥平准教授	6月27日	中3	「かけがえのないもの」という視点から生命倫理、環境問題・エネルギー問題を考える
物質生命理工学科	鈴木伸洋助教	6月15日	中3	植物が乾燥や高温などの環境に適応するためのメカニズム
機能創造理工学科	平野哲文教授	6月28日	高1	「超高温物理最前線」
神学部	小山英之教授	8月31日	高3	「平和主義、日本の役割」他者に奉仕するリーダーとしてのMy Missionとは
看護学科	草柳浩子教授	6月14日	中1	いのちと性の大切さ
文学部哲学科	桑原俊介助教	10月15日	中2	「芸術を哲学する」
社会福祉学科	岡知史教授	2月25日	高1	「上から目線」ではない福祉について：枝を切られた樹は美しい実を結ぶ
国際教養学科	安野正士准教授	2月14日	高2	Introduction to American Foreign Policy
外国語学部英語学科	小塩和人教授	2月19日	中1	グローバル・コンピテンシー
情報理工学科	山下遥助教	2月18日	中2	ビッグデータと機械学習
経済学部	石井昌宏教授	2月12日	中3	「経営学を学ぶ前に」
総合グローバル学部	根本 敬教授	2月26日	高2	「ヨーロッパの海外進出と東南アジア」

さらに、出張授業の内容をまとめた冊子『叡智の世界』を発行いたしました。

2の教育刷新として6月、2月の授業研究日に澤田稔教授をお招きし、数学科、理科科、社会科、総合学習の授業の指導助言を頂きました。また、英語科研修会を2回行い、吉田研作教授指導助言を頂きました。更に3の教育提携校特別推薦にて22名が大学へ進学しました。

②聖イグナチオ・デ･ロヨラ中学高等学校生徒教員日本訪問プログラム

5月27日より6月3日まで、東ティモールよりフランシスコ先生（数学）と高3女子生徒ジョバーニアさん、アリファさんが、浦善孝神父の引率で日本研修として本校に滞在しました。滞在中フランシスコ先生は数学教授法や担任業務を研修され、ジョバーニアさん、アリファさんは本校生徒宅にホームステイをしながら、1週間の学校生活の中で本校生と交流を深め、茶道、体育祭など日本独自の文化を体験しました。

③高２模擬国際会議

2月の研究授業日において、高2Studies For Othersでは模擬国際会議が実施されました。「国際移住と頭脳流出の包括的対策」を議題に、生徒は14，5か国・NGOに分かれそれぞれの国･団体の国際移住者、難民への対応や支援に関する調査など半年かけて準備をしました。総会当日は参加国すべての承認が得られる決議にむけて必死で考え、ギリギリの交渉を制限時間いっぱいに行っていました。全会一致の合意に達することはできませんでしたが、唯一の正解がない世界の中で望ましい解を求める態度が教師の予想を超えて生徒に育っているとの指摘が、指導助言者の澤田稔教授よりなされました。

東ティモール聖イグナチオ・デ･ロヨラ中学高等学校より訪問のジョバーニアさん、アリファさんと本校のホストファミリー

中3ブリスベン語学研修でのアボリジニー文化体験。ディジリドゥーを吹いています。

高2Studies For Othersでの模擬国際会議　総会の様子

財務の概要

上智学院の財務諸表をご案内する前に学校法人会計の特殊性と、株式会社で適用されている企業会計との違いについてご説明いたします。

学校法人会計基準について

1. 学校法人会計基準とは

学校法人はその教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、自ら調達した資金の他に国または地方公共団体から経常費の補助を受けています。当該補助金の交付を受けている学校法人は、私立学校振興助成法の定めにより、一定の会計ルールに則った会計処理と計算書を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。この会計ルールが「学校法人会計基準」です。

2. 企業会計との違い

企業は利益の追求を目的としていることから、企業会計は資本の投下・回収という事業活動の成果と財政状態を利害関係者に開示することを目的としています。

一方、学校法人は教育研究活動という極めて公共性の高い事業を遂行することを目的としており、この教育研究活動を円滑に遂行するために、財政の安定と永続性が求められています。そのため学校法人会計は、企業会計のような「損益」の開示ではなく、今後の活動を継続的且つ安定的に遂行するため、収支の均衡の状況と財政の状態を正確に捉えることを目的としています。

3. 計算書について

上記の目的のため、「学校法人会計基準」に基づき、「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」の作成が義務付けられています。 ※平成25年4月22日文部科学省令第15号により、平成27年度以降は改正基準で作成

(1) 資金収支計算書

当該会計年度に行った諸活動に対応する全ての資金の動きを記録することによって、当該年度の収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現預金）の顛末を示すものです。

(2) 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動ごとの収支の内容と均衡状態を明確にし、経営状況を表すものです。

平成27年度から学校法人の活動を ①教育活動　②教育活動以外の経常的な活動　③それ以外の活動（特別収支）に分けて、それぞれの収支差額を計算しています。

その合計を、「基本金組入前当年度収支差額」として明記し、そこから基本金組入額を控除したものが当年度収支差額となります。

収支の均衡の状態は、「当年度収支差額」で判断します。一般的に学校法人会計では収支が均衡していることを理想としています。

＜基本金とは＞

学校法人が諸活動の計画に基づき、教育研究の維持・充実に必要な資産を継続的に保持するための金額であり、以下のとおり、第１号基本金から第４号基本金まであります。

・第１号基本金…設立や規模の拡大若しくは教育の充実向上のために取得した固定資産の額
・第２号基本金…将来取得する固定資産に充てる金銭その他の資産の額
・第３号基本金…基金として継続的に保持し、運用する金銭その他の資産の額
　※基金の元本から生じる果実は教育研究活動に使用されます。
・第４号基本金…恒常的に保持すべき資金
　※円滑な運営に必要な運転資金を常時保持するため、一定額の資金を基本金とします。

(3) 貸借対照表

期末（年度末）における資産・負債・純資産（基本金及び収支差額）を表記し、財政状態を明らかにして健全性・安定性を示すものです。

2018年度決算の概要

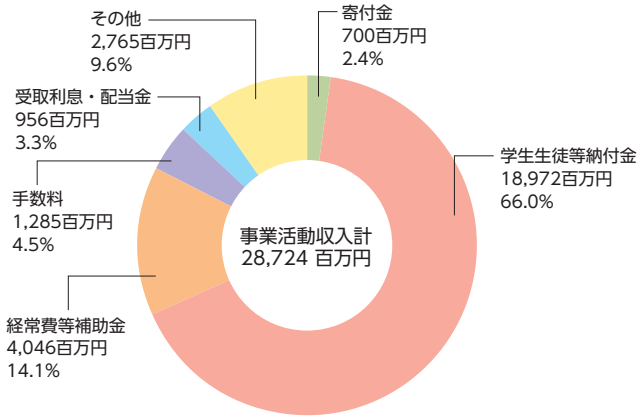
(1) 事業活動収支計算書

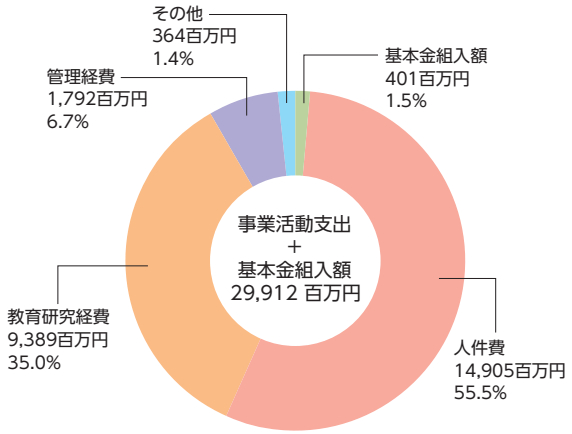
（単位：百万円）

科目		予算	決算	差異
教育活動収支	学生生徒等納付金	19,017	18,972	△ 45
	手数料	1,167	1,285	118
	寄付金	473	700	227
	経常費等補助金	4,070	4,046	△ 24
	付随事業収入	768	750	△ 18
	雑収入	1,170	1,215	45
	教育活動収入計	26,665	26,968	303
	人件費	14,998	14,905	△ 93
	教育研究経費	9,663	9,389	△ 274
	管理経費	1,823	1,792	△ 31
	教育活動支出計	26,484	26,086	△ 398
	教育活動収支差額	181	882	701
教育活動外収支	受取利息・配当金	601	956	355
	その他の教育活動外収入	350	450	100
	教育活動外収入計	951	1,406	455
	借入金等利息他	144	148	4
	教育活動外支出計	144	148	4
	教育活動外収支差額	807	1,258	451
経常収支差額		988	2,140	1,152

科目		予算	決算	差異
特別収支	資産売却差額	0	95	95
	その他の特別収入	189	255	66
	特別収入計	189	350	161
	資産処分差額	452	216	△ 236
	特別支出計	452	216	△ 236
	特別収支差額	△ 263	134	397
予備費（注1）		（181） 0		0
基本金組入前当年度収支差額		725	2,274	1,549
基本金組入額合計		△ 2,417	△ 3,462	△ 1,045
基本金取崩額		0	2,270	2,270
当年度収支差額（注2）		△ 1,692	1,082	2,774
前年度繰越収支差額		△ 15,546	△ 15,546	0
翌年度繰越収支差額		△ 17,238	△ 14,464	2,774
（参考）				
事業活動収入計		27,806	28,724	918
事業活動支出計		27,081	26,450	△ 631

注1：予備費の上段（ ）内は使用額、下段は残高。使用額は使用した科目の予算額に加算されている。
注2：上表の当年度収支差額は、基本金取崩額を含めて算出している。





概要

今年度は合併後3年目の決算となりました。教育・研究活動の収支差額（教育活動収支差額）は、予算と比べて701百万円増の882百万円となりました。これは収入面で学生生徒等納付金・経常費等補助金などが予算を下回ったものの、入学検定料（手数料）、後援会・企業・個人等からのソフィア未来募金に係る寄付金などが予算を上回り、支出面では、人件費・教育研究経費・管理経費がすべて予算を下回ったことによります。主な経費を見ると、教育研究経費で修繕費が107百万円の減、管理経費では広告費が39百万円の減となっています。

教育・研究活動以外の収支差額は予算比451百万円増の1,258百万円で、この内、資産運用に係る収入が予算比355百万円増の956百万円となり、この結果2018年度の経常的活動による収支差額（教育活動収支差額＋教育活動外収支差額）は予算比1,152百万円増の2,140百万円となりました。

経常活動以外の特別収支差額は予算比397百万円増の134百万円となりました。主な収入には有価証券売却差額・施設設備寄付金・現物寄付・施設設備補助金があります。

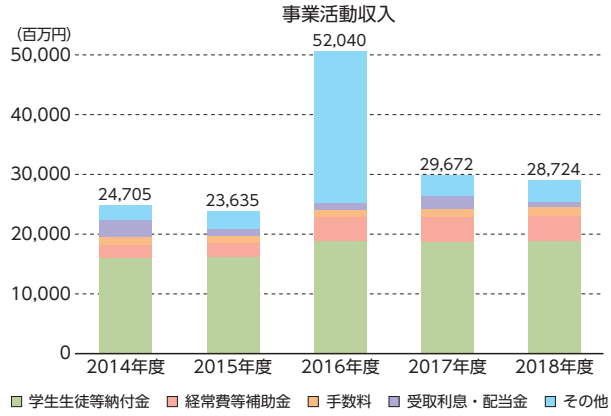
以上により、基本金組入前当年度収支差額（事業活動収入−事業活動支出）は2,274百万円となりました。また、基本金への組入れが3,462百万円、工事の進捗による第2号基本金取崩しなどで基本金取崩額2,270百万円が発生した結果、当年度の収支差額（基本金組入前当年度収支差額−基本金組入額合計＋基本金取崩額）は1,082百万円となりました。また、翌年度繰越収支差額は予算比2,774百万円改善され、△14,464百万円となりました。

過去5年間の推移(注1)

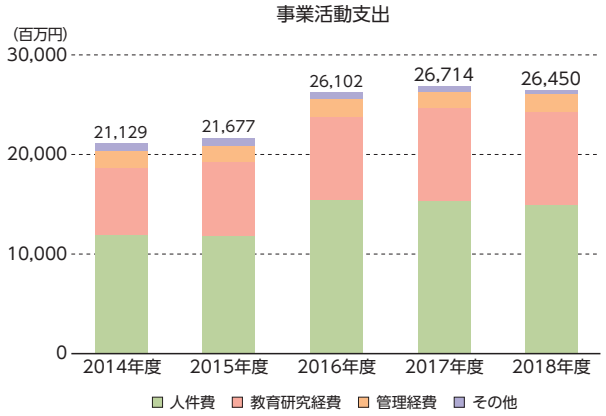
（単位：百万円）

科　目		2014年度	2015年度	2016年度（注2）	2017年度	2018年度
教育活動収支	学生生徒等納付金	15,760	16,178	18,855	18,765	18,972
	手数料	1,245	1,155	1,277	1,360	1,285
	寄付金	544	297	24,271	437	700
	経常費等補助金	2,366	2,324	3,738	3,913	4,046
	付随事業収入	735	672	730	797	750
	雑収入	776	798	1,179	1,332	1,215
	教育活動収入計	21,426	21,424	50,050	26,604	26,968
	人件費	11,976	11,841	15,407	15,287	14,905
	教育研究経費	6,789	7,460	8,349	9,399	9,389
	管理経費	1,433	1,522	1,783	1,525	1,792
	徴収不能額等	46	0	0	0	0
	教育活動支出計	20,244	20,823	25,540	26,211	26,086
	教育活動収支差額	1,182	601	24,511	393	882
教育活動外収支	受取利息・配当金	2,984	1,073	1,180	2,091	956
	その他の教育活動外収入	0	0	0	400	450
	教育活動外収入計	2,984	1,073	1,180	2,491	1,406
	借入金等利息	145	161	172	158	148
	その他の教育活動外支出	0	82	0	0	0
	教育活動外支出計	145	243	172	158	148
	教育活動外収支差額	2,839	830	1,008	2,333	1,258
経常収支差額		4,021	1,431	25,519	2,726	2,140
特別収支	資産売却差額	79	949	90	19	95
	その他の特別収入	216	190	720	558	255
	特別収入計	295	1,138	810	577	350
	資産処分差額	740	610	390	345	216
	その他の特別支出	0	1	0	0	0
	特別支出計	740	611	390	345	216
	特別収支差額	△ 445	528	420	232	134
基本金組入前当年度収支差額		3,576	1,958	25,939	2,958	2,274
基本金組入額合計		△ 3,560	△ 1,594	△ 29,142	△ 401	△ 3,462
基本金取崩額		0	0	46	312	2,270
当年度収支差額（注3）		16	364	△ 3,157	2,869	1,082
前年度繰越収支差額		△ 15,639	△ 15,622	△ 15,258	△ 18,415	△ 15,546
翌年度繰越収支差額		△ 15,622	△ 15,258	△ 18,415	△ 15,546	△ 14,464
（参考）						
事業活動収入計		24,705	23,635	52,040	29,672	28,724
事業活動支出計		21,129	21,677	26,102	26,714	26,450

注1：過年度分を含めて新会計基準に置き換えて算出している。　注2：2016年度は法人合併に伴い、収入・支出ともに大幅に増加している。
注3：上表の当年度収支差額は、基本金取崩額を含めて算出している。



注：2016年度には、合併に伴う寄付金受入額23,691百万円が含まれている。



(2) 資金収支計算書

（単位：百万円）

収入の部				支出の部			
科　目	予算	決算	差異	科　目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	19,017	18,972	△ 45	人件費支出	15,064	14,956	△ 108
手数料収入	1,167	1,285	118	教育研究経費支出	6,984	6,693	△ 291
寄付金収入	527	768	241	管理経費支出	1,608	1,531	△ 77
補助金収入	4,117	4,093	△ 24	借入金等利息支出	143	146	3
受取利息・配当金収入	601	956	355	借入金等返済支出	1,115	1,145	30
資産売却収入	4,941	4,645	△ 296	施設関係支出	10,474	8,799	△ 1,675
付随事業・収益事業収入	1,118	1,200	82	設備関係支出	1,196	811	△ 385
雑収入	1,170	1,281	111	資産運用支出	9,668	10,323	655
借入金等収入	5,150	5,175	25	その他の支出	1,406	1,485	79
前受金収入	7,410	7,012	△ 398	予備費（注1）	(211)		
その他の収入	6,079	6,655	576		0		0
資金収入調整勘定	△ 5,778	△ 5,594	184	資金支出調整勘定	△ 1,326	△ 1,038	288
前年度繰越支払資金	7,245	7,244	△ 1	翌年度繰越支払資金	6,432	8,841	2,409
収入の部合計	52,764	53,692	928	支出の部合計	52,764	53,692	928

注１：予備費の上段（ ）内は使用額、下段は残高。使用額は使用した科目の予算額に加算されている。

概要

資金収支の規模は、53,692百万円で予算比928百万円の増となりました。資金収入では、手数料収入・寄付金収入・受取利息・配当金収入のほか、引当特定資産取崩収入などの「その他の収入」が予算比576百万円増の6,655百万円となっています。

一方、資金支出では施設関係支出が予算比1,675百万円減の8,799百万円となり、翌年度繰越支払資金8,841百万円の前年度からの増加額1,597百万円の要因となっています。

施設関係支出の主なものは、四谷キャンパスの近隣土地購入支出3,787百万円、上智大学アルペ国際学生寮建物支出1,452百万円、建設仮勘定支出（主に3・4・9号館改修工事費）2,967百万円となっています。

過去５年間の推移

収入の部

（単位：百万円）

科　目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
学生生徒等納付金収入	15,760	16,178	18,855	18,766	18,972
手数料収入	1,245	1,155	1,277	1,360	1,285
寄付金収入	579	345	3,188	657	768
補助金収入	2,467	2,391	3,948	4,191	4,093
受取利息・配当金収入	2,984	1,073	1,180	2,091	956
資産売却収入	6,954	8,226	4,176	6,491	4,645
付随事業・収益事業収入	735	672	730	1,197	1,200
雑収入	775	798	1,179	1,333	1,281
借入金等収入	2,400	2,600	0	0	5,175
前受金収入	5,045	4,938	4,938	4,935	7,012
その他の収入	13,747	13,793	14,517	9,636	6,655
資金収入調整勘定	△ 6,960	△ 5,751	△ 5,956	△ 5,804	△ 5,594
前年度繰越支払資金	5,063	5,045	4,998	8,493	7,244
収入の部合計	50,796	51,462	53,030	53,346	53,692

支出の部

（単位：百万円）

科　目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
人件費支出	12,042	11,913	15,511	15,349	14,956
教育研究経費支出	5,135	5,812	5,858	6,710	6,693
管理経費支出	1,187	1,354	1,494	1,317	1,531
借入金等利息支出	145	161	172	158	146
借入金等返済支出	700	650	797	916	1,145
施設関係支出	2,812	4,952	6,898	3,301	8,799
設備関係支出	933	800	1,374	872	811
資産運用支出	19,705	19,362	12,339	17,876	10,323
その他の支出	3,515	1,948	978	889	1,485
資金支出調整勘定	△ 423	△ 487	△ 884	△ 1,286	△ 1,038
翌年度繰越支払資金	5,045	4,998	8,493	7,244	8,841
支出の部合計	50,796	51,462	53,030	53,346	53,692

注：過年度分を含めて新会計基準に置き換えて算出している。

(3) 貸借対照表

（単位：百万円）

【資産の部】				【負債の部】			
科　　目	2018年度	2017年度	増　減	科　　目	2018年度	2017年度	増　減
固定資産	147,270	140,754	6,516	固定負債	18,625	18,142	483
有形固定資産	89,907	83,350	6,557	長期借入金	11,763	11,250	513
土地	22,777	18,990	3,787	退職給与引当金	6,598	6,649	△ 51
建物	44,243	43,554	689	長期未払金	264	243	21
構築物	1,675	1,699	△ 24	流動負債	13,469	8,248	5,221
教育研究用機器備品	3,278	3,438	△ 160	短期借入金	4,632	1,115	3,517
管理用機器備品	179	164	15	未払金	805	1,112	△ 307
図書	12,127	12,060	67	前受金	7,013	4,938	2,075
車両	14	12	2	預り金	944	1,035	△ 91
建設仮勘定	5,614	3,433	2,181	仮受金	75	48	27
特定資産	51,840	51,946	△ 106	負債の部合計	32,094	26,390	5,704
第２号基本金引当特定資産	2,649	7,246	△ 4,597	【純資産の部】			
第３号基本金引当特定資産	13,183	12,902	281	基本金	139,471	138,279	1,192
退職給与引当特定資産	6,450	6,157	293	第１号基本金	121,765	116,572	5,193
減価償却引当特定資産	28,113	24,724	3,389	第２号基本金	2,649	7,246	△ 4,597
その他の引当特定資産	1,445	917	528	第３号基本金	13,183	12,903	280
その他の固定資産	5,523	5,458	65	第４号基本金	1,874	1,558	316
流動資産	9,831	8,369	1,462	繰越収支差額	△ 14,464	△ 15,546	1,082
現金預金	8,841	7,244	1,597	翌年度繰越収支差額	△ 14,464	△ 15,546	1,082
その他の流動資産	990	1,125	△ 135	純資産の部合計	125,007	122,733	2,274
資産の部合計	157,101	149,123	7,978	負債及び純資産の部合計	157,101	149,123	7,978

概要

今年度は、有形固定資産で大きな増加がありました。主に四谷キャンパス近隣の土地建物（14号館）取得で、土地3,787百万円、建物146百万円の増があり、また、上智大学アルペ国際学生寮新築による建物2,134百万円の増がありました。建設仮勘定では工事が継続している３・４・9号館の改修工事費2,967百万円増、工事終了に伴う振替減843百万円となっています。

特定資産では、計画完了に伴い第2号基本金引当特定資産が4,597百万円減、減価償却引当特定資産は3,389百万円増となりました。なお、減価償却引当金累計額は48,475百万円で、58%までの引当となっています。

この結果、資産の部の合計は、前年度末より7,978百万円増の157,101百万円となりました。その他の固定資産には収益事業元入金4,681百万円が含まれています。

一方、負債の部では、上智大学アルペ国際学生寮新築のための長期借入金1,500百万円、土地建物（14号館）取得の

ための短期借入金3,500百万円の増がありました。前受金には、市谷キャンパス土地売却代金内金2,490百万円が含まれています。

純資産の部では、基本金が1,192百万円増の139,471百万円、翌年度繰越収支差額は△14,464百万円で、1,082百万円改善されました。

過去５年間の推移

資産の部

（単位：百万円）

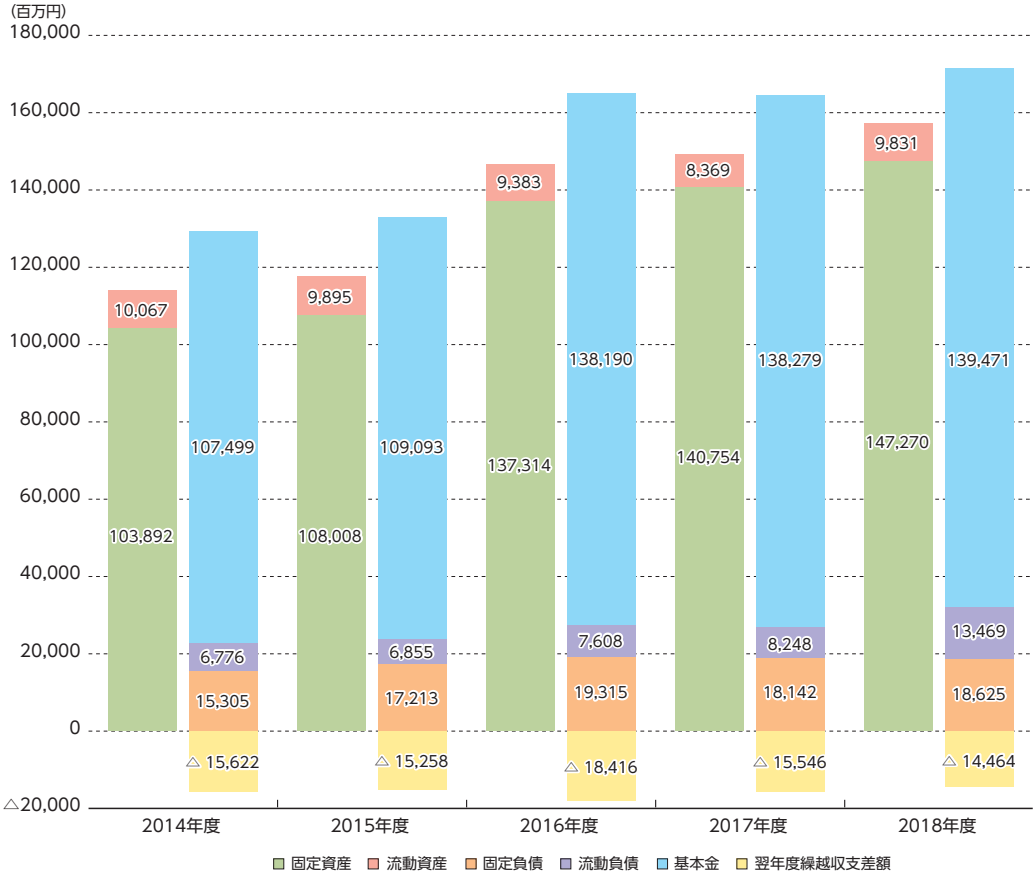
科　目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
固定資産	103,892	108,008	137,314	140,754	147,270
流動資産	10,067	9,895	9,383	8,369	9,831
資産の部の合計	113,959	117,903	146,697	149,123	157,101

負債及び純資産の部

（単位：百万円）

科　目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
固定負債	15,305	17,213	19,315	18,142	18,625
流動負債	6,776	6,855	7,608	8,248	13,469
負債の部の合計	22,082	24,068	26,923	26,390	32,094
基本金	107,499	109,093	138,190	138,279	139,471
第1号基本金	80,039	82,959	113,613	116,572	121,765
第2号基本金	14,710	13,029	10,290	7,246	2,649
第3号基本金	11,452	11,807	12,729	12,903	13,183
第4号基本金	1,298	1,298	1,558	1,558	1,874
翌年度繰越収支差額	△ 15,622	△ 15,258	△ 18,416	△ 15,546	△ 14,464
純資産の部合計	91,877	93,835	119,774	122,733	125,007
負債及び純資産の部合計	113,959	117,903	146,697	149,123	157,101

貸借対照表



2018年度特別予算執行報告

（単位：百万円）

区　分	企画概要	予算執行額
教育関係	諸経費	7
学生生徒生活関係	課外活動補助	8
奨学金関係	奨学金・奨励金	7
就職支援関係	就職支援関係	9
図書・図書資料取得	中央図書館図書・図書資料費	12
図書管理維持関係	諸経費	15
ICT整備関係	教務関係	5
	学費・学籍関係	8
	健康管理関係	15
	公開講座（一般）関係	6
	CALL教室	24
	その他の教研ネットワーク	253
	事務系システム・ネットワーク	22
	グローバル化	10
	入試関係	5
	諸経費	13
グローバル化推進	文部科学省補助金「大学の世界展開力強化事業（LAP）」学院負担分	10
	諸経費	10
一般運営費	学長裁量経費	7
	諸経費	18
施設等修繕	四谷キャンパス	238
	秦野キャンパス	9
施設等維持管理関係	四谷キャンパス	6
キャンパス計画関係	四谷キャンパス	3,594
	アルペ国際学生寮	1,556
	真田掘グラウンド	37
学生生徒募集関係	諸経費	6
入試・入学手続関係	入試関係	6
一般広報関係	史資料室関係	14
その他		45
合　計		5,973

注：表示単位未満を四捨五入している関係上、合計において差異が生じる場合がある。

財務比率の推移

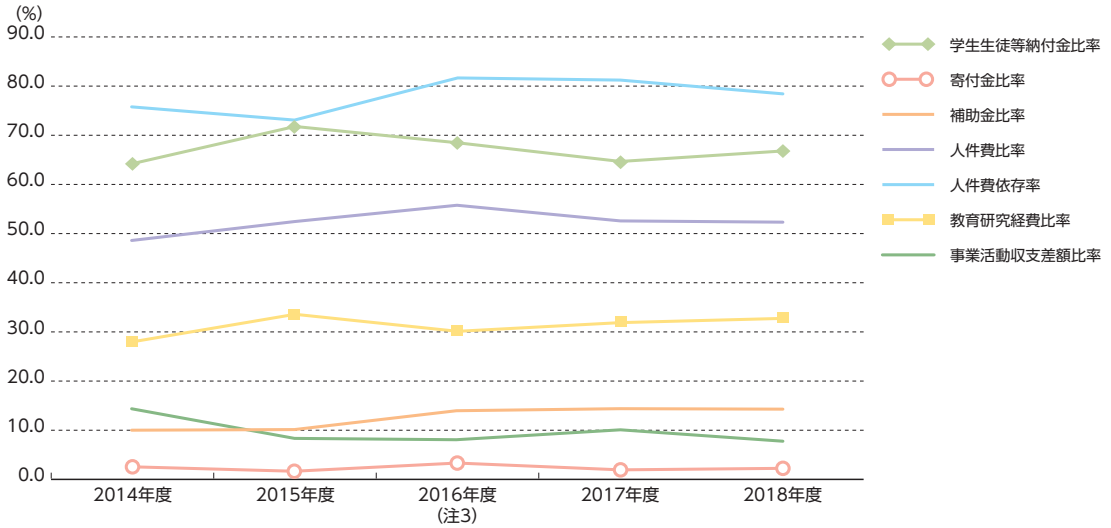
(1) 事業活動収支計算関連比率の推移(注1)

（単位：%）

財務比率	算式（×100）	評価（注2）	2014年度	2015年度	2016年度（注3）	2017年度	2018年度	他法人平均（注4）
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 経常収入	ー	64.6	71.9	68.5	64.5	66.9	59.8
寄付金比率	寄付金 / 事業活動収入	△	2.7	1.8	3.8	2.4	2.9	1.6
経常寄付金比率	教育活動収入の寄付金 / 経常収入	△	2.2	1.3	2.1	1.5	2.5	1.3
補助金比率	補助金 / 事業活動収入	△	10.0	10.1	13.9	14.1	14.2	7.9
経常補助金比率	教育活動収入の補助金 / 事業活動収入	△	9.6	9.8	13.2	13.2	14.1	7.4
人件費比率	人件費 / 経常収入	▼	49.1	52.6	55.9	52.5	52.5	50.5
人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	▼	76.0	73.2	81.7	81.5	78.6	84.5
教育研究経費比率	教育研究経費 / 経常収入	△	27.8	33.2	30.3	32.3	33.1	38.7
管理経費比率	管理経費 / 経常収入	▼	5.9	6.8	6.5	5.2	6.3	5.7
借入金等利息比率	借入金等利息 / 経常収入	▼	0.6	0.7	0.6	0.5	0.5	0.2
基本金組入率	基本金組入額 / 事業活動収入	△	14.4	6.7	12.6	1.4	12.1	8.8
基本金組入後収支比率	事業活動支出 / 事業活動収入-基本金組入額	▼	99.9	98.3	105.4	91.3	104.7	103.6
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	△	14.5	8.3	7.9	10.0	7.9	5.5

注1：過年度分を含めて新会計基準に置き換えて算出している。
注2：評価　△：高い値が良い　▼：低い値が良い　ー：どちらともいえない
注3：法人合併に伴って計上した、寄付金及び基本金組入額は除く。
注4：他法人平均：（社）日本私立大学連盟まとめ　学生収容定員数　10,000人～19,999人／本学を含む16法人の2017年度決算平均値

主たる比率の推移



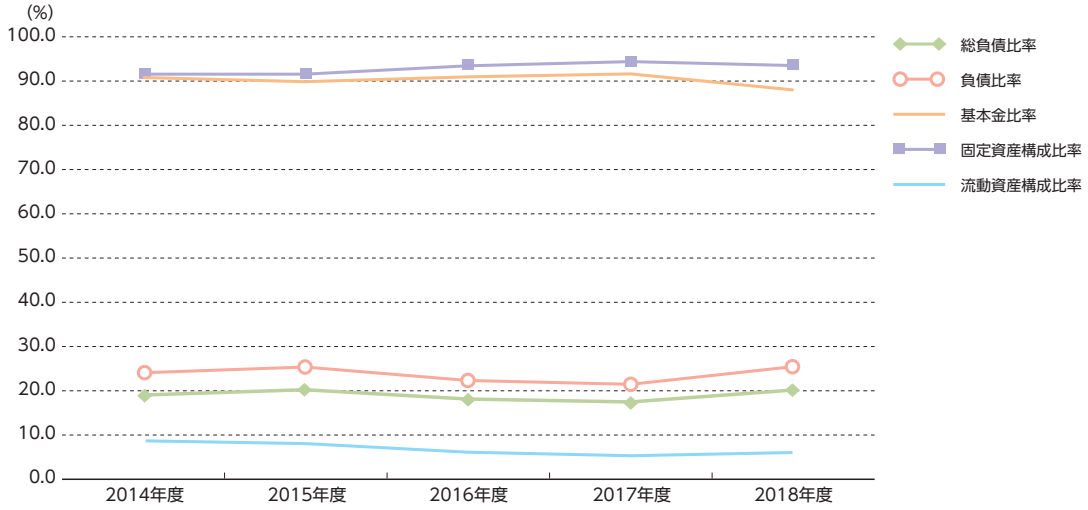
(2) 貸借対照表関連比率の推移

（単位：%）

財務比率	算式（×100）	評価（注1）	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	他法人平均（注2）
固定資産構成比率	固定資産／総資産	▼	91.2	91.6	93.6	94.4	93.7	89.8
流動資産構成比率	流動資産／総資産	△	8.8	8.4	6.4	5.6	6.3	10.2
固定負債構成比率	固定負債／負債+純資産	▼	13.4	14.6	13.2	12.2	11.9	9.5
流動負債構成比率	流動負債／負債+純資産	▼	5.9	5.8	5.2	5.5	8.6	5.6
純資産構成比率	純資産／負債+純資産	△	80.6	79.6	81.6	82.3	79.6	85.0
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額／負債+純資産	△	△ 13.7	△ 12.9	△ 12.6	△ 10.4	△ 9.2	△ 15.5
固定比率	固定資産／純資産	▼	113.1	115.1	114.6	114.7	117.8	105.7
固定長期適合率	固定資産／純資産+固定負債	▼	96.9	97.3	93.6	99.9	102.5	95.1
流動比率	流動資産／流動負債	△	148.6	144.3	123.3	101.5	73.0	183.1
総負債比率	総負債／総資産	▼	19.4	20.4	18.4	17.7	20.4	15.0
負債比率	総負債／純資産	▼	24.0	25.6	22.5	21.5	25.7	17.7
基本金比率	基本金／基本金要組入額	△	91.6	90.1	91.1	91.8	88.2	

注1：評価　△：高い値が良い　▼：低い値が良い　ー：どちらともいえない
注2：他法人平均：（社）日本私立大学連盟まとめ
　　学生収容定員数　10,000人～19,999人／本学を含む16法人の2017年度決算平均値

主たる比率の推移



資産運用の状況

2018年度は、海外のインフレや金利動向、また貿易摩擦懸念の高まり等を考慮し、前年度以上にリスク抑制的なスタンスで、収益性と安全性に十分配慮した分散投資の徹底を図り、安定的な収入を上げることを目指して資産運用に取組みました。

結果、2018年度の資産運用収益は1,039百万円となり、その内訳は、受取利息・配当金が956百万円、有価証券売却差額95百万円と有価証券処分差額マイナス12百万円となりました。

2019年度については、2020年以降に予想される世界的な景気減速を織り込む過程で変動性の激しい神経質な株式市場となる可能性が高いと想定し、引き続きリスク抑制的な方針で臨む方針です。

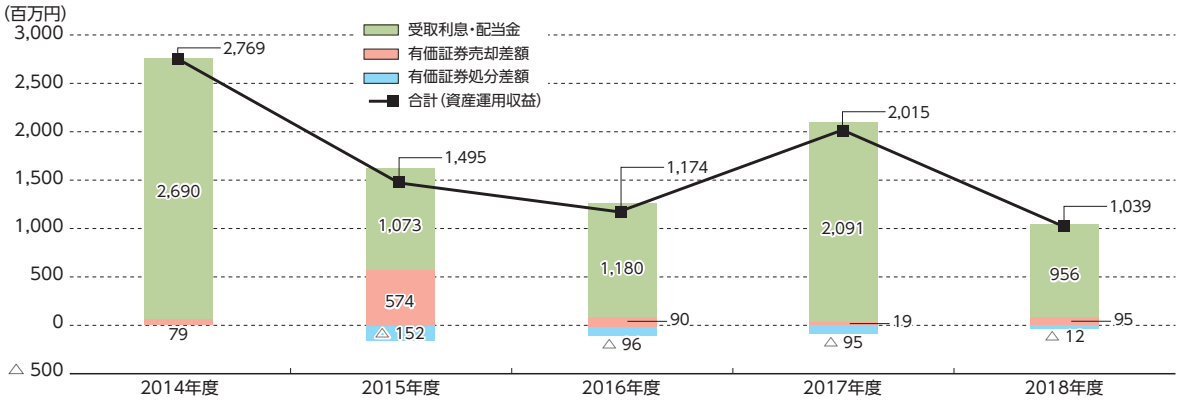
また、上智学院では、建学の理念と整合的な投資方針として、加盟している国連グローバルコンパクトの原則を資産運用面で実践するために署名している「国連責任投資原則（PRI）」に基づき、社会的リターンと投資リターンの両立を目指して、ESG（環境・社会・ガバナンス）を考慮した投資を引き続き推進してまいります。

資産運用結果の推移

（単位：百万円）

区　分	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
受取利息・配当金	2,690	1,073	1,180	2,091	956
有価証券売却差額	79	574	90	19	95
有価証券処分差額	0	△ 152	△ 96	△ 95	△ 12
合計（資産運用収益）	2,769	1,495	1,174	2,015	1,039

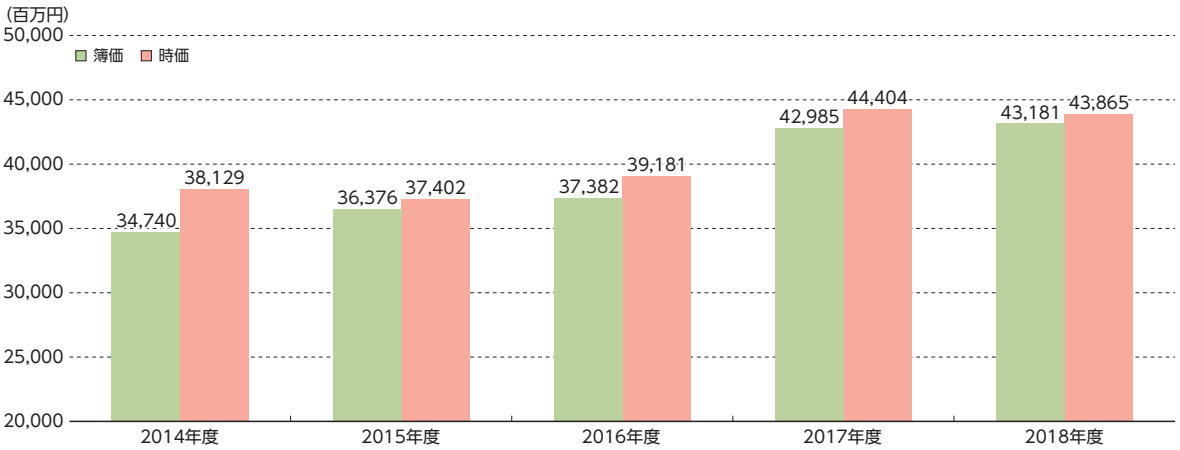
注：「受取利息・配当金」は基本金運用収入を含む額である。



有価証券の時価の推移

（単位：百万円）

区　分	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
簿価	34,740	36,376	37,382	42,985	43,181
時価	38,129	37,402	39,181	44,404	43,865
差額（時価－簿価）	3,389	1,026	1,762	1,419	684



収益事業の状況

本学は所有する建物の一部にテナントを入れることで家賃収入を得ています。この場合、私立学校法に基づく収益事業（不動産貸付業）に該当するため、企業会計に基づく会計処理と計算書類（損益計算書、貸借対照表）の作成が義務付けられています。

損益計算書

（単位：百万円）

区　分	2017年度（A）	2018年度（B）	増減（B－A）
売上高	1,515	1,624	109
販売費・一般管理費	797	1,012	215
営業外収益	44	0	△ 44
営業外費用	422	77	△ 345
学校会計繰入金支出前損益	340	535	195
学校会計繰入金支出	400	450	50
税引前当期純損益	△ 60	85	145
法人税、住民税及び事業税	0	90	90
当期純損益	△ 60	△ 5	55

貸借対照表

（単位：百万円）

区　分	2017年度（A）	2018年度（B）	増減（B－A）
流動資産	1,262	1,471	209
固定資産	15,053	14,631	△ 422
資産合計	16,315	16,102	△ 213
流動負債	7,009	7,099	90
固定負債	5,004	4,706	△ 298
負債合計	12,013	11,806	△ 208
純資産合計	4,302	4,296	△ 6
負債・純資産合計	16,315	16,102	△ 214

概要

〈損益計算書〉

2018年度は、6号館（ソフィアタワー）オフィスビルのテナント賃料収入等により、売上高は1,624百万円になりました。販売費・一般管理費は、租税公課（固定資産税等）、業務委託費の増により1,012百万円となりました。税引前当期利益は85百万円となりました。なお、当期は学校会計へ450百万円を繰り入れています。繰入金は、教育研究活動等へ投下していく計画です。

〈貸借対照表〉

流動資産は、普通預金の増、固定資産は減価償却による減となりました。流動負債は、法人税等の未払金の増、固定負債は借入金の減によるものです。

沿革

Men and Women for Others, with Others

“Men and Women for Others, with Others”（他者のために、他者とともに生きる人）の育成という教育の精神に基づき、キリスト教ヒューマニズムに立脚した教育、研究、社会貢献・国際貢献を展開しています。「上智」という名称は、伝統的なカトリックの祈り「聖母マリアの連祷」の中の一句である「上智の座」に由来し、「最上の叡智」を意味します。

1549 年（天文 18 年）	聖フランシスコ・ザビエル来日
1906 年（明治 39 年）	教皇ピオ10世のカトリック大学設立の要請とイエズス会の受諾
1908 年（明治 41 年）	3人のイエズス会士来日
1911 年（明治 44 年）	財団法人上智学院設立
1912 年（明治 45 年）	東京市麹町区紀尾井町の土地を購入
1913 年（大正 2 年）	専門学校令により上智大学開設（哲学科、独逸文学科、商科）
1928 年（昭和 3 年）	大学令による上智大学開設（文学部、商学部）
1932 年（昭和 7 年）	専門部開設、1号館竣工、福岡カトリック神学校開校（1936年に泰星中学校に改称）
1937 年（昭和 12 年）	ソフィア会（同窓会）設立、財団法人六甲中学校設立（1950年に学校法人六甲学院に変更）
1938 年（昭和 13 年）	六甲中学校開校
1946 年（昭和 21 年）	公開講座開講
1947 年（昭和 22 年）	新制六甲中学校・高等学校発足、栄光中学校開校（1949年に栄光学園中学校に改称）
1948 年（昭和 23 年）	新制大学開設（文学部、経済学部）、泰星高等学校開校
1949 年（昭和 24 年）	国際部（現在の国際教養学部の前身）設置
1950 年（昭和 25 年）	真田濠グラウンド開場、栄光学園高等学校開校
1951 年（昭和 26 年）	私立学校法による学校法人上智学院設立 新制大学院開設（神学研究科、哲学研究科、西洋文化研究科、経済学研究科） 学校法人泰星学園設立
1956 年（昭和 31 年）	学校法人広島学院設立、広島学院中学校開校
1957 年（昭和 32 年）	法学部開設、女子学生の受入開始、学校法人栄光学園設立
1958 年（昭和 33 年）	神学部、外国語学部開設
1959 年（昭和 34 年）	広島学院高等学校開校
1962 年（昭和 37 年）	理工学部開設
1964 年（昭和 39 年）	上智大学社会福祉専修科開設
1966 年（昭和 41 年）	法学研究科、理工学研究科開設、西洋文化研究科を文学研究科に改組、上智大学社会福祉専修科を上智社会福祉専修学校に改組、上智短期大学ソフィア会（同窓会）発足
1970 年（昭和 45 年）	外国語学研究科開設
1973 年（昭和 48 年）	上智短期大学開設
1975 年（昭和 50 年）	外国語学部に日本語・日本文化学科を増設（1977年に比較文化学科に改組）
1976 年（昭和 51 年）	上智社会福祉専修学校を上智社会福祉専門学校に改組 ソフィア・コミュニティ・カレッジ（社会人講座）開講
1980 年（昭和 55 年）	ホフマン・ホール竣工、国際部廃止
1984 年（昭和 59 年）	中央図書館・総合研究棟の開館
1987 年（昭和 62 年）	比較文化学部開設
2004 年（平成 16 年）	法学研究科に法曹養成専攻（法科大学院）を増設
2005 年（平成 17 年）	総合人間科学部、総合人間科学研究科、地球環境学研究科開設、2号館竣工
2006 年（平成 18 年）	比較文化学部を国際教養学部に改組、グローバル・スタディーズ研究科開設
2007 年（平成 19 年）	経済学研究科を改組
2008 年（平成 20 年）	理工学部・理工学研究科を改組
2011 年（平成 23 年）	学校法人聖母学園との法人合併（聖母大学、聖母看護学校を併設） 総合人間科学部に看護学科を増設・総合人間科学研究科に看護学専攻を増設 泰星中学高等学校から上智福岡中学高等学校に改称
2012 年（平成 24 年）	上智短期大学を上智大学短期大学部に改称、上智大学祖師谷国際交流会館開設
2013 年（平成 25 年）	上智大学創立100周年、上智短期大学創立40周年、上智社会福祉専門学校創立50周年記念式典を挙行
2014 年（平成 26 年）	総合グローバル学部開設、聖母大学閉校
2015 年（平成 27 年）	助産学専攻科開設
2016 年（平成 28 年）	学校法人上智学院、学校法人栄光学園、学校法人六甲学院、学校法人広島学院、学校法人泰星学園との法人合併。新たな「学校法人上智学院」が誕生。 実践宗教学研究科開設、外国語学研究科を言語科学研究科に改称、聖母看護学校閉校
2017 年（平成 29 年）	6号館（ソフィアタワー）竣工

叡智が世界をつなぐ

学校法人 上智学院
SOPHIA SCHOOL CORPORATION

上智大学　上智大学短期大学部　上智社会福祉専門学校

栄光学園中学高等学校　広島学院中学校・高等学校

六甲学院中学校・高等学校　上智福岡中学高等学校

2019年5月発行　編集・発行 学校法人上智学院 総務局経営企画グループ　〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7番1号